

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	1	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期及び後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語 1
	2	訓読み・送り仮名・熟語 2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方 1
	6	漢字の意味・使い方 2
	7	漢字の意味・使い方 3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き 1
	11	特殊な漢字の読み書き 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	2	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期及び後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習1
	3	電卓実践演習2
	4	電卓実践演習3
	5	電卓実践演習4
	6	電卓実践演習5
	7	電卓実践演習6
	8	電卓実践演習7
	9	電卓実践演習8
	10	電卓実践演習9
	11	電卓実践演習10
	12	電卓実践演習11
	13	電卓実践演習12
	14	電卓実践演習13
	15	電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	事務職ビジネスマナー	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必1	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事務職の1日の流れ</li> <li>2 電話応対応用①</li> <li>3 電話応対応用②</li> <li>4 電話応対応用③</li> <li>5 接遇の流れ①</li> <li>6 接遇の流れ②</li> <li>7 接遇の流れ③</li> <li>8 演習（ロールプレイング）①</li> <li>9 演習（ロールプレイング）②</li> <li>10 演習（ロールプレイング）③</li> <li>11 演習（ロールプレイング）④</li> <li>12 演習（ロールプレイング）⑤</li> <li>13 演習（ロールプレイング）⑥</li> <li>14 効果測定①</li> <li>15 効果測定②</li> </ol>	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	4
授業科目	経理実務
実務家教員授業	授業担当者：富山 満
	実務経験：富山税理士事務所にて、税務代理・税務書類の作成・税務相談に従事。
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選必1
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理・総務の年間カリキュラム</li> <li>2 小切手・手形の実務上のポイント</li> <li>3 入出金伝票と現金出納帳</li> <li>4 当座預金出納帳と手形記入帳</li> <li>5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分</li> <li>6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①</li> <li>7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②</li> <li>8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③</li> <li>9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④</li> <li>10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤</li> <li>11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥</li> <li>12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①</li> <li>13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②</li> <li>14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③</li> <li>15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①</li> <li>16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②</li> <li>17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③</li> <li>18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①</li> <li>19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②</li> <li>20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③</li> <li>21 個人住民税の徴収及び納付①</li> <li>22 個人住民税の徴収及び納付②</li> <li>23 印紙税の基礎知識</li> <li>24 受取利息の会計処理</li> <li>25 消費税法の概要①</li> <li>26 消費税法の概要②</li> <li>27 消費税の会計処理</li> <li>28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①</li> <li>29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②</li> <li>30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③</li> </ol>
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	5	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員授業	授業担当者：富山 満	
	実務経験：富山税理士事務所にて、税務代理・税務書類の作成・税務相談に従事。	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必1	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	年末調整のしかた①
	5	年末調整のしかた②
	6	年末調整のしかた③
	7	法定調書の流れ①
	8	法定調書の流れ②
	9	法定調書の流れ③
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	13	労働保険の概要及び会計処理①
	14	労働保険の概要及び会計処理②
	15	労働保険の概要及び会計処理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	6	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必2	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45回	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 営業の心得④ 20 訪問の流れ① 21 訪問の流れ② 22 訪問の流れ③ 23 訪問の流れ④ 24 演習① 25 演習② 26 演習③ 27 商談の進め方① 28 商談の進め方② 29 商談の進め方③ 30 商談の進め方④	31 商品説明① 32 商品説明② 33 商品説明③ 34 商品説明④ 35 商品説明⑤ 36 演習① 37 演習② 38 演習③ 39 演習④ 40 総合演習① 41 総合演習② 42 総合演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	7	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必2	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	顧客満足①
	2	顧客満足②
	3	マーケティングの必要性①
	4	マーケティングの必要性②
	5	情報収集と分析①
	6	情報収集と分析②
	7	流通チャネル①
	8	流通チャネル②
	9	プロモーション①
	10	プロモーション②
	11	財務知識①
	12	財務知識②
	13	事例研究①
	14	事例研究②
	15	事例研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	8	
授業科目	マーケティング基礎	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必2	
授業方法	講義	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	店舗データの理解①
	2	店舗データの理解②
	3	マーケティングの流れ①
	4	マーケティングの流れ②
	5	売上構成分析①
	6	売上構成分析②
	7	来店客分析①
	8	来店客分析②
	9	商品分析①
	10	商品分析②
	11	費用分析①
	12	費用分析②
	13	課題抽出①
	14	課題抽出②
	15	アンケート調査分析①
	16	アンケート調査分析②
	17	企画作成①
	18	企画作成②
	19	企画作成③
	20	企画作成④
	21	様々なマーケティング①
	22	様々なマーケティング②
	23	ブレ卒業研究①
	24	ブレ卒業研究②
	25	ブレ卒業研究③
	26	ブレ卒業研究④
	27	ブレ卒業研究⑤
	28	ブレ卒業研究⑥
	29	ブレ卒業研究⑦
	30	ブレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	9	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	働くとは
	2	業界研究
	3	企業研究①
	4	企業研究②
	5	志望動機の作り方①
	6	志望動機の作り方②
	7	志望動機の作り方③
	8	志望動機の作り方④
	9	志望動機の作り方⑤
	10	書類送付方法
	11	ビジネス電話
	12	ビジネスメール
	13	内定後学習①
	14	内定後学習②
	15	内定後学習③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	10	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会人マナー
	2	冠婚葬祭マナー
	3	贈答マナー
	4	会食マナー
	5	時事研究・グループ討議①
	6	時事研究・グループ討議②
	7	時事研究・グループ討議③
	8	時事研究・グループ討議④
	9	時事研究・グループ討議⑤
	10	時事研究・グループ討議⑥
	11	時事研究・グループ討議⑦
	12	時事研究・グループ討議⑧
	13	時事研究・グループ討議⑨
	14	発表①
	15	発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	11	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理
	2	セルやセル範囲のデータの管理
	3	テーブルの作成
	4	関数を使用してのデータ集計
	5	関数を使用しての条件付き計算
	6	関数を使用した文字列の整形や変更
	7	グラフの作成
	8	グラフの書式設定①
	9	グラフの書式設定②
	10	グラフの書式設定③
	11	オブジェクトの挿入や書式設定①
	12	オブジェクトの挿入や書式設定②
	13	オブジェクトの挿入や書式設定③
	14	オブジェクトの挿入や書式設定④
	15	オブジェクトの挿入や書式設定⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	12	
授業科目	Excel応用	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 回	
授業概要	MOS Exceleエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理
	2	セルやセル範囲のデータの管理
	3	テーブルの作成
	4	テーブルの作成
	5	関数を使用してのデータ集計①
	6	関数を使用してのデータ集計②
	7	関数を使用しての条件付き計算①
	8	関数を使用しての条件付き計算②
	9	関数を使用しての条件付き計算③
	10	関数を使用した文字列の整形や変更①
	11	関数を使用した文字列の整形や変更②
	12	グラフの作成①
	13	グラフの作成②
	14	グラフの書式設定
	15	オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	13	
授業科目	Word基礎	
実務家教員授業	— —	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成①
	2	文章の作成②
	3	文章内の移動①
	4	文章内の移動②
	5	文章の書式設定①
	6	文章の書式設定②
	7	文章の書式設定③
	8	文章の書式設定④
	9	オプションの設定、表示のカスタマイズ①
	10	オプションの設定、表示のカスタマイズ②
	11	オプションの設定、表示のカスタマイズ③
	12	オプションの設定、表示のカスタマイズ④
	13	文章の印刷、保存①
	14	文章の印刷、保存②
	15	文章の印刷、保存③
	16	文章の印刷、保存④
	17	文字列・段落の挿入①
	18	文字列・段落の挿入②
	19	文字列・段落の挿入③
	20	文字列・段落の挿入④
	21	文字列・段落の書式設定①
	22	文字列・段落の書式設定②
	23	文字列・段落の書式設定③
	24	文字列・段落の書式設定④
	25	文字列・段落の書式設定⑤
	26	文字列・段落の並び替え、グループ化①
	27	文字列・段落の並び替え、グループ化②
	28	文字列・段落の並び替え、グループ化③
	29	文字列・段落の並び替え、グループ化④
	30	文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	14	
授業科目	Word応用	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	表の作成
	2	表の変更①
	3	表の変更②
	4	リストの作成、変更①
	5	リストの作成、変更②
	6	参照のための情報・記号の作成、管理①
	7	参照のための情報・記号の作成、管理②
	8	標準の参考資料作成、管理①
	9	標準の参考資料作成、管理②
	10	グラフィック要素の挿入①
	11	グラフィック要素の挿入②
	12	グラフィック要素の書式設定①
	13	グラフィック要素の書式設定②
	14	SmartArtの挿入、書式設定①
	15	SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	15	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの作成①
	2	プレゼンテーションの作成②
	3	スライドの挿入、書式設定①
	4	スライドの挿入、書式設定②
	5	配布資料、ノートの変更①
	6	配布資料、ノートの変更②
	7	配布資料、ノートの変更③
	8	スライドの並び替え、グループ化①
	9	スライドの並び替え、グループ化②
	10	スライドの並び替え、グループ化③
	11	オプションの変更①
	12	オプションの変更②
	13	オプションの変更③
	14	スライドショーの設定、実行①
	15	スライドショーの設定、実行②
	16	スライドショーの設定、実行③
	17	テキストの挿入、書式設定①
	18	テキストの挿入、書式設定②
	19	テキストの挿入、書式設定③
	20	図形・テキストボックスの挿入・書式設定①
	21	図形・テキストボックスの挿入・書式設定②
	22	図形・テキストボックスの挿入・書式設定③
	23	図の挿入、書式設定①
	24	図の挿入、書式設定②
	25	図の挿入、書式設定③
	26	図の挿入、書式設定④
	27	図形の並び替え、グループ化①
	28	図形の並び替え、グループ化②
	29	図形の並び替え、グループ化③
	30	図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	16	
授業科目	Power Point応用	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	表の挿入、設定
	2	グラフの挿入、書式設定①
	3	グラフの挿入、書式設定②
	4	SmartArtの挿入、書式設定①
	5	SmartArtの挿入、書式設定②
	6	メディアの挿入、管理①
	7	メディアの挿入、管理②
	8	画面切り替えの設定①
	9	画面切り替えの設定②
	10	アニメーションの設定①
	11	アニメーションの設定②
	12	複数のコンテンツの結合①
	13	複数のコンテンツの結合②
	14	プレゼンテーションの保護、共有①
	15	プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	17
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員授業	— —
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループディスカッションとは</li> <li>2 グループディスカッションの役割①</li> <li>3 グループディスカッションの役割②</li> <li>4 抽象テーマ型グループディスカッション①</li> <li>5 抽象テーマ型グループディスカッション②</li> <li>6 抽象テーマ型グループディスカッション③</li> <li>7 抽象テーマ型グループディスカッション④</li> <li>8 抽象テーマ型グループディスカッション⑤</li> <li>9 抽象テーマ型グループディスカッション⑥</li> <li>10 課題解決型グループディスカッション①</li> <li>11 課題解決型グループディスカッション②</li> <li>12 課題解決型グループディスカッション③</li> <li>13 課題解決型グループディスカッション④</li> <li>14 課題解決型グループディスカッション⑤</li> <li>15 資料読み取り型グループディスカッション①</li> <li>16 資料読み取り型グループディスカッション②</li> <li>17 資料読み取り型グループディスカッション③</li> <li>18 資料読み取り型グループディスカッション④</li> <li>19 資料読み取り型グループディスカッション⑤</li> <li>20 フェルミ推定①</li> <li>21 フェルミ推定②</li> <li>22 フェルミ推定③</li> <li>23 KJ法①</li> <li>24 KJ法②</li> <li>25 KJ法③</li> <li>26 その他特殊型①</li> <li>27 その他特殊型②</li> <li>28 その他特殊型③</li> <li>29 その他特殊型④</li> <li>30 その他特殊型⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	Word、Excel を操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	一般的なビジネス文書の作成①
	5	一般的なビジネス文書の作成②
	6	一般的なビジネス文書の作成③
	7	シンプルなレポートや報告書の作成①
	8	シンプルなレポートや報告書の作成②
	9	シンプルなレポートや報告書の作成③
	10	表、画像、図形を使った文書の作成（1）①
	11	表、画像、図形を使った文書の作成（1）②
	12	表、画像、図形を使った文書の作成（1）③
	13	表、画像、図形を使った文書の作成（1）④
	14	表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑤
	15	表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	表作成の基本操作①
	5	表作成の基本操作②
	6	表作成の基本操作③
	7	表、画像、図形を使った文書の作成（2）①
	8	表、画像、図形を使った文書の作成（2）②
	9	表、画像、図形を使った文書の作成（2）③
	10	見やすく使いやすい表にする編集操作①
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作②
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作③
	13	見やすく使いやすい表にする編集操作④
	14	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	20	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	数式・関数を活用した集計表の作成①
	5	数式・関数を活用した集計表の作成②
	6	数式・関数を活用した集計表の作成③
	7	ワークシート間の集計①
	8	ワークシート間の集計②
	9	ワークシート間の集計③
	10	グラフの基本①
	11	グラフの基本②
	12	グラフの基本③
	13	目的に応じたグラフの作成と編集①
	14	目的に応じたグラフの作成と編集②
	15	目的に応じたグラフの作成と編集③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	パソコン実習Ⅳ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	データベース機能の利用①
	5	データベース機能の利用②
	6	データベース機能の利用③
	7	データの抽出①
	8	データの抽出②
	9	データの抽出③
	10	ピボットテーブル①
	11	ピボットテーブル②
	12	ピボットテーブル③
	13	マクロによる作業の自動化①
	14	マクロによる作業の自動化②
	15	マクロによる作業の自動化③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期及び後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い
	2	職場のマナー
	3	仕事の進め方①
	4	仕事の進め方②
	5	報告、連絡、相談①
	6	報告、連絡、相談②
	7	挨拶
	8	笑顔、お辞儀
	9	敬語
	10	応対の基本
	11	電話応対①
	12	電話応対②
	13	効果測定①
	14	効果測定②
	15	効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	23	
授業科目	接遇ビジネスマナー	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期及び後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	接遇マナーとは
	2	接遇の心構え
	3	お茶の入れ方、出し方
	4	お見送り
	5	後片付け
	6	接遇の流れ①
	7	接遇の流れ②
	8	演習①
	9	演習②
	10	演習③
	11	演習④
	12	演習⑤
	13	演習⑥
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	24
授業科目	会計ソフト実習
実務家教員授業	— —
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 振替伝票の入力操作①</li> <li>2 振替伝票の入力操作②</li> <li>3 入出金伝票の入力操作①</li> <li>4 入出金伝票の入力操作②</li> <li>5 仕訳帳の入力操作①</li> <li>6 仕訳帳の入力操作②</li> <li>7 売掛帳・買掛帳の入力操作①</li> <li>8 売掛帳・買掛帳の入力操作②</li> <li>9 売掛帳・買掛帳の入力操作③</li> <li>10 現金出納帳・預金出納帳の入力操作①</li> <li>11 現金出納帳・預金出納帳の入力操作②</li> <li>12 現金出納帳・預金出納帳の入力操作③</li> <li>13 勘定科目の追加登録①</li> <li>14 勘定科目の追加登録②</li> <li>15 勘定科目の追加登録③</li> <li>16 付箋機能①</li> <li>17 付箋機能②</li> <li>18 付箋機能③</li> <li>19 決算手続きの操作①</li> <li>20 決算手続きの操作②</li> <li>21 決算手続きの操作③</li> <li>22 決算手続きの操作④</li> <li>23 決算手続きの操作⑤</li> <li>24 決算書の作成①</li> <li>25 決算書の作成②</li> <li>26 決算書の作成③</li> <li>27 決算書の作成④</li> <li>28 決算書の作成⑤</li> <li>29 翌期繰越処理①</li> <li>30 翌期繰越処理②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	25
授業科目	財務会計
実務家教員授業	授業担当者：富山 満
	実務経験：富山税理士事務所にて、税務代理・税務書類の作成・税務相談に従事。
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 リース取引① 5 リース取引② 6 リース取引③ 7 キャッシュ・フロー計算書① 8 キャッシュ・フロー計算書② 9 キャッシュ・フロー計算書③ 10 キャッシュ・フロー計算書④ 11 キャッシュ・フロー計算書⑤ 12 税効果会計① 13 税効果会計② 14 税効果会計③ 15 税効果会計④ 16 税効果会計⑤ 17 退職給付会計① 18 退職給付会計② 19 退職給付会計③ 20 退職給付会計④ 21 退職給付会計⑤ 22 消費税法① 23 消費税法② 24 消費税法③ 25 消費税法④ 26 消費税法⑤ 27 法人税法① 28 法人税法② 29 法人税法③ 30 法人税法④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	26	
授業科目	販売仕入管理	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	売上事務の流れ
	2	納品書の作成と売上計上①
	3	納品書の作成と売上計上②
	4	請求書の作成と代金回収管理①
	5	請求書の作成と代金回収管理②
	6	請求書の作成と代金回収管理③
	7	複数の得意先との取引①
	8	複数の得意先との取引②
	9	複数の得意先との取引③
	10	仕入事務の流れ
	11	仕入管理の記帳①
	12	仕入管理の記帳②
	13	仕入代金の支払いと買掛金管理①
	14	仕入代金の支払いと買掛金管理②
	15	仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	時事	
実務家教員授業	— —	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識③ 4 用語知識④ 5 用語知識⑤ 6 用語知識⑥ 7 用語知識⑦ 8 用語知識⑧ 9 用語知識⑨ 10 用語知識⑩ 11 用語知識⑪ 12 用語知識⑫ 13 用語知識⑬ 14 用語知識⑭ 15 用語知識⑮ 16 用語知識⑯ 17 用語知識⑰ 18 用語知識⑱ 19 用語知識⑲ 20 用語知識⑳ 21 用語知識㉑ 22 用語知識㉒ 23 用語知識㉓ 24 用語知識㉔ 25 用語知識㉕ 26 用語知識㉖ 27 用語知識㉗ 28 用語知識㉘ 29 用語知識㉙ 30 用語知識㉚	31 考え方① 32 考え方② 33 考え方③ 34 考え方④ 35 考え方⑤ 36 発表① 37 発表② 38 発表③ 39 発表④ 40 発表⑤ 41 個人研究① 42 個人研究② 43 個人研究③ 44 個人研究④ 45 個人研究⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	28	
授業科目	プレゼンテーション	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期及び後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	企画から発表までの一連の流れ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションとは何か
	2	プレゼンテーションの種類
	3	企画①
	4	企画②
	5	企画③
	6	情報収集①
	7	情報収集②
	8	情報収集③
	9	シナリオ作成①
	10	シナリオ作成②
	11	シナリオ作成③
	12	コンテンツ作成①
	13	コンテンツ作成②
	14	話し方
	15	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	29			
授業科目	卒業研究			
実務家教員授業	-			
	-			
学部・学科	経理本科1年制学科			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	180時間（6単位）			
授業コマ数	90回			
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する			
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	業界分析①	46	調査・検証②
	2	業界分析②	47	調査・検証③
	3	業界分析③	48	調査・検証④
	4	業界分析④	49	調査・検証⑤
	5	情報収集①	50	調査・検証⑥
	6	情報収集②	51	調査・検証⑦
	7	情報収集③	52	調査・検証⑧
	8	情報収集④	53	調査・検証⑨
	9	情報収集⑤	54	調査・検証⑩
	10	情報収集⑥	55	企画案作成①
	11	情報収集⑦	56	企画案作成②
	12	情報収集⑧	57	企画案作成③
	13	店舗分析①	58	企画案作成④
	14	店舗分析②	59	企画案作成⑤
	15	店舗分析③	60	企画案作成⑥
	16	店舗分析④	61	企画案作成⑦
	17	店舗分析⑤	62	企画案作成⑧
	18	店舗分析⑥	63	企画案作成⑨
	19	店舗分析⑦	64	企画案作成⑩
	20	店舗分析⑧	65	中間発表①
	21	店舗見学①	66	中間発表②
	22	店舗見学②	67	中間発表③
	23	店舗見学③	68	中間発表④
	24	店舗見学④	69	中間発表⑤
	25	店舗見学⑤	70	再検証①
	26	店舗見学⑥	71	再検証②
	27	店舗見学⑦	72	再検証③
	28	店舗見学⑧	73	再検証④
	29	課題抽出①	74	再検証⑤
	30	課題抽出②	75	再検証⑥
	31	課題抽出③	76	再検証⑦
	32	課題抽出④	77	再検証⑧
	33	課題抽出⑤	78	再検証⑨
	34	課題抽出⑥	79	再検証⑩
	35	課題抽出⑦	80	最終発表①
	36	課題抽出⑧	81	最終発表②
	37	仮説①	82	最終発表③
	38	仮説②	83	最終発表④
	39	仮説③	84	最終発表⑤
	40	仮説④	85	代表によるコンテストの実施①
	41	仮説⑤	86	代表によるコンテストの実施②
	42	仮説⑥	87	代表によるコンテストの実施③
	43	仮説⑦	88	代表によるコンテストの実施④
	44	仮説⑧	89	代表によるコンテストの実施⑤
	45	調査・検証①	90	代表によるコンテストの実施⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	30	
授業科目	実務会計 基礎	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	財務諸表を理解し、会計の構造を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 売掛債権管理① 2 売掛債権管理② 3 売掛債権管理③ 4 売掛債権管理④ 5 買掛債務管理① 6 買掛債務管理② 7 買掛債務管理③ 8 買掛債務管理④ 9 在庫管理① 10 在庫管理② 11 在庫管理③ 12 在庫管理④ 13 固定資産① 14 固定資産② 15 固定資産③ 16 固定資産④ 17 ソフトウェア管理① 18 ソフトウェア管理② 19 ソフトウェア管理③ 20 ソフトウェア管理④ 21 原価管理① 22 原価管理② 23 原価管理③ 24 原価管理④ 25 経費管理① 26 経費管理② 27 経費管理③ 28 経費管理④ 29 月次業務管理① 30 月次業務管理②	31 月次業務管理③ 32 月次業務管理④ 33 税効果計算業務① 34 税効果計算業務② 35 税効果計算業務③ 36 税効果計算業務④ 37 税効果計算業務⑤ 38 税効果計算業務⑥ 39 税効果計算業務⑦ 40 消費税申告業務① 41 消費税申告業務② 42 消費税申告業務③ 43 消費税申告業務④ 44 消費税申告業務⑤ 45 消費税申告業務⑥ 46 消費税申告業務⑦ 47 法人税申告業務① 48 法人税申告業務② 49 法人税申告業務③ 50 法人税申告業務④ 51 法人税申告業務⑤ 52 法人税申告業務⑥ 53 法人税申告業務⑦ 54 税務調査対応① 55 税務調査対応② 56 税務調査対応③ 57 税務調査対応④ 58 税務調査対応⑤ 59 税務調査対応⑥ 60 税務調査対応⑦
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容																															
科目番号	31																															
授業科目	実務会計 応用																															
実務家教員授業	—	—																														
	—	—																														
学部・学科	経理本科1年制学科																															
履修年次	1年次																															
開講学期	前期																															
科目区分	選択																															
授業方法	演習																															
授業時間	30時間（1単位）																															
授業コマ数	15回																															
授業概要	決算書の構図を理解し、経営活動との関係性を学習する																															
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る																															
達成目標	経理・財務スキル検定ランクCレベルの知識を習得する																															
教科書	テキスト及び参考書																															
特記																																
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>現金出納帳管理</td></tr> <tr><td>2</td><td>手形・小切手管理</td></tr> <tr><td>3</td><td>有価証券管理</td></tr> <tr><td>4</td><td>財務保証管理</td></tr> <tr><td>5</td><td>貸付金業務</td></tr> <tr><td>6</td><td>借入金業務</td></tr> <tr><td>7</td><td>社債管理</td></tr> <tr><td>8</td><td>デリバティブ取引管理</td></tr> <tr><td>9</td><td>外貨建取引管理</td></tr> <tr><td>10</td><td>資金管理</td></tr> <tr><td>11</td><td>単年決算業務</td></tr> <tr><td>12</td><td>連結決算管理</td></tr> <tr><td>13</td><td>中長期軽々管理</td></tr> <tr><td>14</td><td>年次予算管理①</td></tr> <tr><td>15</td><td>年次予算管理②</td></tr> </table>	1	現金出納帳管理	2	手形・小切手管理	3	有価証券管理	4	財務保証管理	5	貸付金業務	6	借入金業務	7	社債管理	8	デリバティブ取引管理	9	外貨建取引管理	10	資金管理	11	単年決算業務	12	連結決算管理	13	中長期軽々管理	14	年次予算管理①	15	年次予算管理②	
1	現金出納帳管理																															
2	手形・小切手管理																															
3	有価証券管理																															
4	財務保証管理																															
5	貸付金業務																															
6	借入金業務																															
7	社債管理																															
8	デリバティブ取引管理																															
9	外貨建取引管理																															
10	資金管理																															
11	単年決算業務																															
12	連結決算管理																															
13	中長期軽々管理																															
14	年次予算管理①																															
15	年次予算管理②																															
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																															
備考																																

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	32	
授業科目	VBA基礎	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	Excelの操作に関する実践的な知識を身に付ける学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	Excelの実践的な関数、マクロ・VBAの基礎知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	関数を使用してのデータ検索①
	2	関数を使用してのデータ検索②
	3	日付と時刻の関数を適用
	4	マクロとVBA①
	5	マクロとVBA②
	6	マクロとVBA③
	7	マクロの基本操作①
	8	マクロの基本操作②
	9	マクロの基本操作③
	10	マクロ記録の活用①
	11	マクロ記録の活用②
	12	マクロ記録の活用③
	13	オブジェクト操作①
	14	オブジェクト操作②
	15	オブジェクト操作③
	16	セル操作①
	17	セル操作②
	18	セル操作③
	19	VBAの基本構文①
	20	VBAの基本構文②
	21	VBAの基本構文③
	22	VBAの基本構文④
	23	VBAの基本構文⑤
	24	VBA関数①
	25	VBA関数②
	26	VBA関数③
	27	VBA関数④
	28	VBA関数⑤
	29	VBA関数⑥
	30	VBA関数⑦
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	33	
授業科目	ネットビジネス基礎	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	ネットショップ事務の共通知識、制作・運用に必要な知識を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	eコマース業界における全体像の基本的な知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ビジネスショップのビジネス環境①
	2	ビジネスショップのビジネス環境②
	3	ビジネスショップのビジネス環境③
	4	ビジネスショップのビジネス環境④
	5	ビジネスショップのビジネス環境⑤
	6	小売業の分類と特徴①
	7	小売業の分類と特徴②
	8	小売業の分類と特徴③
	9	小売業の分類と特徴④
	10	小売業の分類と特徴⑤
	11	ネットショップの位置づけ①
	12	ネットショップの位置づけ②
	13	ネットショップの位置づけ③
	14	ネットショップの位置づけ④
	15	ネットショップの位置づけ⑤
	16	ネットショップの動向①
	17	ネットショップの動向②
	18	ネットショップの動向③
	19	ネットショップの動向④
	20	ネットショップの動向⑤
	21	ネットショップの出店形態と特徴①
	22	ネットショップの出店形態と特徴②
	23	ネットショップの出店形態と特徴③
	24	ネットショップの出店形態と特徴④
	25	ネットショップの出店形態と特徴⑤
	26	ネットショップ事務の共通知識①
	27	ネットショップ事務の共通知識②
	28	ネットショップ事務の共通知識③
	29	ネットショップ事務の共通知識④
	30	ネットショップ事務の共通知識⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	34	
授業科目	ネットビジネス応用	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	ネットショップ検定（レベル1）	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	ネットビジネスの環境を理解し、実践できる知識を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ネットショップ事業の準備①
	2	ネットショップ事業の準備②
	3	ネットショップ事業の準備③
	4	ネットショップの製作①
	5	ネットショップの製作②
	6	ネットショップの製作③
	7	ネットショップの製作④
	8	ネットショップのプロモーション①
	9	ネットショップのプロモーション②
	10	ネットショップのプロモーション③
	11	ネットショップのプロモーション④
	12	ネットショップの運用①
	13	ネットショップの運用②
	14	ネットショップの運用③
	15	ネットショップの運用④
	16	社会人としての基礎知識①
	17	社会人としての基礎知識②
	18	社会人としての基礎知識③
	19	社会人としての基礎知識④
	20	問題演習①
	21	問題演習②
	22	問題演習③
	23	問題演習④
	24	総合演習①
	25	総合演習②
	26	総合演習③
	27	総合演習④
	28	検定対策①
	29	検定対策②
	30	検定対策③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	35	
授業科目	簿記論応用 I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計 I ①（入門編）
	2	本支店会計 I ②（入門編）
	3	組織再編会計 I ①（入門編）
	4	組織再編会計 I ②（入門編）
	5	建設業会計 I ①（入門編）
	6	建設業会計 I ②（入門編）
	7	連結会計 I ①（入門編）
	8	連結会計 I ②（入門編）
	9	製造業会計 I ①（入門編）
	10	製造業会計 I ②（入門編）
	11	キャッシュ・フロー計算書 I（入門編）
	12	繰延資産 I（入門編）
	13	圧縮記帳 I（入門編）
	14	ストック・オプション I（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	36	
授業科目	財務諸表論応用 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）	
授業コマ数	9 0 回	
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 金利スワップ①（入門） 2 金利スワップ②（入門） 3 金利スワップ③（入門） 4 金利スワップ④（入門） 5 金利スワップ⑤（入門） 6 金利スワップ⑥（入門） 7 金利スワップ⑦（入門） 8 金利スワップ⑧（入門） 9 金利スワップ⑨（入門） 10 金利スワップ⑩（入門） 11 資産及び負債の貸借対照表能力①（入門） 12 資産及び負債の貸借対照表能力②（入門） 13 資産及び負債の貸借対照表能力③（入門） 14 資産及び負債の貸借対照表能力④（入門） 15 資産及び負債の貸借対照表能力⑤（入門） 16 資産及び負債の貸借対照表能力⑥（入門） 17 資産及び負債の貸借対照表能力⑦（入門） 18 資産及び負債の貸借対照表能力⑧（入門） 19 資産及び負債の貸借対照表能力⑨（入門） 20 資産及び負債の貸借対照表能力⑩（入門） 21 資産及び負債の貸借対照表能力⑪（入門） 22 資産及び負債の貸借対照表能力⑫（入門） 23 資産及び負債の貸借対照表能力⑬（入門） 24 資産及び負債の貸借対照表能力⑭（入門） 25 資産及び負債の貸借対照表能力⑮（入門） 26 投資のリスクからの解放①（入門） 27 投資のリスクからの解放②（入門） 28 投資のリスクからの解放③（入門） 29 投資のリスクからの解放④（入門） 30 投資のリスクからの解放⑤（入門） 31 投資のリスクからの解放⑥（入門） 32 投資のリスクからの解放⑦（入門） 33 投資のリスクからの解放⑧（入門） 34 投資のリスクからの解放⑨（入門） 35 投資のリスクからの解放⑩（入門） 36 投資のリスクからの解放⑪（入門） 37 投資のリスクからの解放⑫（入門） 38 投資のリスクからの解放⑬（入門） 39 投資のリスクからの解放⑭（入門） 40 投資のリスクからの解放⑮（入門） 41 配分と評価①（入門） 42 配分と評価②（入門） 43 配分と評価③（入門） 44 配分と評価④（入門） 45 配分と評価⑤（入門）	46 配分と評価⑥（入門） 47 配分と評価⑦（入門） 48 配分と評価⑧（入門） 49 配分と評価⑨（入門） 50 配分と評価⑩（入門） 51 配分と評価⑪（入門） 52 配分と評価⑫（入門） 53 配分と評価⑬（入門） 54 配分と評価⑭（入門） 55 配分と評価⑮（入門） 56 収益認識①（入門） 57 収益認識②（入門） 58 収益認識③（入門） 59 収益認識④（入門） 60 収益認識⑤（入門） 61 収益認識⑥（入門） 62 収益認識⑦（入門） 63 収益認識⑧（入門） 64 収益認識⑨（入門） 65 収益認識⑩（入門） 66 収益認識⑪（入門） 67 収益認識⑫（入門） 68 収益認識⑬（入門） 69 収益認識⑭（入門） 70 収益認識⑮（入門） 71 組織再①（入門） 72 組織再②（入門） 73 組織再③（入門） 74 組織再④（入門） 75 組織再⑤（入門） 76 組織再⑥（入門） 77 組織再⑦（入門） 78 組織再⑧（入門） 79 組織再⑨（入門） 80 組織再⑩（入門） 81 組織再⑪（入門） 82 組織再⑫（入門） 83 組織再⑬（入門） 84 組織再⑭（入門） 85 組織再⑮（入門） 86 組織再⑯（入門） 87 組織再⑰（入門） 88 組織再⑱（入門） 89 組織再⑲（入門） 90 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	37	
授業科目	消費税法応用 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60 時間（2 単位）	
授業コマ数	30 回	
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	軽減税率①（入門編）
	2	軽減税率②（入門編）
	3	軽減税率③（入門編）
	4	軽減税率④（入門編）
	5	軽減税率⑤（入門編）
	6	軽減税率⑥（入門編）
	7	旧税率に関する経過措置①（入門編）
	8	旧税率に関する経過措置②（入門編）
	9	旧税率に関する経過措置③（入門編）
	10	旧税率に関する経過措置④（入門編）
	11	旧税率に関する経過措置⑤（入門編）
	12	旧税率に関する経過措置⑥（入門編）
	13	複数税率の場合の計算①（入門編）
	14	複数税率の場合の計算②（入門編）
	15	複数税率の場合の計算③（入門編）
	16	複数税率の場合の計算④（入門編）
	17	複数税率の場合の計算⑤（入門編）
	18	複数税率の場合の計算⑥（入門編）
	19	国等に対する特例①（入門編）
	20	国等に対する特例②（入門編）
	21	国等に対する特例③（入門編）
	22	国等に対する特例④（入門編）
	23	国等に対する特例⑤（入門編）
	24	国等に対する特例⑥（入門編）
	25	国等に対する特例⑦（入門編）
	26	国等に対する特例⑧（入門編）
	27	特殊項目①（事業承継があった場合の控除税額の調整等）（入門編）
	28	特殊項目②（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点）（入門編）
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	38
授業科目	相続税法応用 I
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60 時間（2 単位）
授業コマ数	30 回
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎）</li> <li>2 未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎）</li> <li>3 相次相続控除（基礎）</li> <li>4 増改築等があった場合（基礎）</li> <li>5 結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）</li> <li>6 確認テスト①(理論)</li> <li>7 無道路地（基礎）</li> <li>8 定期借地権等（基礎）</li> <li>9 定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎）</li> <li>10 土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎）</li> <li>11 造成費相当額の算定（平坦地）（基礎）</li> <li>12 公社債（基礎）</li> <li>13 雇用主が保険料を負担している場合（基礎）</li> <li>14 保険金の評価（基礎）</li> <li>15 確認テスト②(理論)</li> <li>16 定期金に関する権利（基礎）</li> <li>17 保証期間付定期金に関する権利（基礎）</li> <li>18 契約に基づかない定期金に関する権利（基礎）</li> <li>19 財産の所在（基礎）</li> <li>20 贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎）</li> <li>21 相続税の外国税額控除（基礎）</li> <li>22 贈与税の外国税額控除（基礎）</li> <li>23 確認テスト③(理論)</li> <li>24 養子の子の応用的な取扱い（基礎）</li> <li>25 農地等の相続税の納税猶予（基礎）</li> <li>26 非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎）</li> <li>27 非上場株式の相続税の納税猶予（基礎）</li> <li>28 個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎）</li> <li>29 個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎）</li> <li>30 確認テスト④(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 4 回分の平均点100%
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	法人税法応用 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60 時間（2 単位）	
授業コマ数	30 回	
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	連結納税制度 1（初級）
	2	連結納税制度 2（初級）
	3	連結納税制度 3（初級）
	4	連結納税制度 4（初級）
	5	連結納税制度 5（初級）
	6	連結納税制度 6（初級）
	7	連結納税制度 7（初級）
	8	連結納税制度 8（初級）
	9	連結納税制度 9（初級）
	10	連結納税制度 10（初級）
	11	連結納税制度 11（初級）
	12	連結納税制度 12（初級）
	13	連結納税制度 13（初級）
	14	連結納税制度 14（初級）
	15	連結納税制度 15（初級）
	16	連結納税制度 16（初級）
	17	連結納税制度 17（初級）
	18	連結納税制度 18（初級）
	19	連結納税制度 19（初級）
	20	連結納税制度 20（初級）
	21	試験研究費の特別控除 1（初級）
	22	試験研究費の特別控除 2（初級）
	23	試験研究費の特別控除 3（初級）
	24	試験研究費の特別控除 4（初級）
	25	資産除去債務 1（初級）
	26	資産除去債務 2（初級）
	27	資産除去債務 3（初級）
	28	解散税制 1（初級）
	29	解散税制 2（初級）
	30	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	40
授業科目	所得税法応用Ⅱ
実務家教員	—
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業回数	30回
授業概要	各種所得金額計算の応用的項目を学習する
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	所得税額の体系を学んだ上で更に応用的な項目を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第1回実力判定公開模試</li> <li>2 第1回実力判定公開模試 解答解説</li> <li>3 受贈益、棚卸資産の自家消費・贈与等</li> <li>4 青色事業専従者給与、資本的支出と修繕費</li> <li>5 必要経費関連（租税公課、借入金利子）</li> <li>6 減価償却、貸倒引当金</li> <li>7 第2回実力判定公開模試</li> <li>8 第2回実力判定公開模試 解答解説</li> <li>9 広告宣伝用資産の受贈益</li> <li>10 収用交換等の特別控除等の併用関係</li> <li>11 みなし譲渡</li> <li>12 確定給付企業年金制度、特定口座制度</li> <li>13 第3回実力判定公開模試</li> <li>14 第3回実力判定公開模試 解答解説</li> <li>15 みなし配当・みなし譲渡、みなし株式分離課税</li> <li>16 純損失の繰越控除</li> <li>17 上場株式等に係る譲渡損失の損益通算及び繰越控除</li> <li>18 特定事業用資産の買換え、外貨建取引の換算</li> <li>19 第4回実力判定公開模試</li> <li>20 第4回実力判定公開模試 解答解説</li> <li>21 特定役員退職手当等の取扱い</li> <li>22 定期借地権、不動産所得の収入計上時期</li> <li>23 居住用財産の譲渡</li> <li>24 相続税額の取得費加算</li> <li>25 ゴルフ会員権、生活に通常必要でない資産の取扱い</li> <li>26 給与所得の経済的利益</li> <li>27 新株予約権の譲渡、認定住宅の取得</li> <li>28 平均課税制度</li> <li>29 外国税額控除、寄附金税額控除</li> <li>30 確認テスト（理論）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	41
授業科目	簿記論総合 I
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60 時間（2 単位）
授業コマ数	30 回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現金預金Ⅱ（入門編）</li> <li>2 債権債務Ⅱ（入門編）</li> <li>3 商品売買Ⅱ（入門編）</li> <li>4 固定資産Ⅱ（入門編）</li> <li>5 退職給付会計Ⅱ（入門編）</li> <li>6 税金Ⅱ（入門編）</li> <li>7 社債Ⅱ（入門編）</li> <li>8 純資産会計Ⅱ（入門編）</li> <li>9 有価証券Ⅱ（入門編）</li> <li>10 外貨建会計Ⅱ（入門編）</li> <li>11 リース会計Ⅱ（入門編）</li> <li>12 試用販売Ⅱ（入門編）</li> <li>13 割賦販売Ⅱ（入門編）</li> <li>14 未着品販売Ⅱ（入門編）</li> <li>15 委託販売・受託販売Ⅱ（入門編）</li> <li>16 本支店会計Ⅱ（入門編）</li> <li>17 組織再編会計Ⅱ（入門編）</li> <li>18 連結会計Ⅱ（入門編）</li> <li>19 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ（入門編）</li> <li>20 項目別答練①（入門編）</li> <li>21 項目別答練②（入門編）</li> <li>22 基礎答練①（入門編）</li> <li>23 基礎答練②（入門編）</li> <li>24 応用答練①（入門編）</li> <li>25 応用答練②（入門編）</li> <li>26 過去問演習①（入門編）</li> <li>27 過去問演習②（入門編）</li> <li>28 問題演習実践①（入門編）</li> <li>29 問題演習実践②（入門編）</li> <li>30 模擬試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	42
授業科目	財務諸表論総合 I
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 回
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表論総まとめ①（入門） 2 財務諸表論総まとめ①（入門） 3 財務諸表論総まとめ②（入門） 4 財務諸表論総まとめ②（入門） 5 財務諸表論総まとめ③（入門） 6 財務諸表論総まとめ③（入門） 7 財務諸表論総まとめ④（入門） 8 財務諸表論総まとめ④（入門） 9 財務諸表論総まとめ⑤（入門） 10 財務諸表論総まとめ⑤（入門） 11 総合問題対策①（入門） 12 総合問題対策①（入門） 13 総合問題対策②（入門） 14 総合問題対策②（入門） 15 総合問題対策③（入門） 16 総合問題対策③（入門） 17 総合問題対策④（入門） 18 総合問題対策④（入門） 19 総合問題対策⑤（入門） 20 総合問題対策⑤（入門） 21 総合問題対策⑥（入門） 22 総合問題対策⑥（入門） 23 総合問題対策⑦（入門） 24 総合問題対策⑦（入門） 25 総合問題対策⑧（入門） 26 総合問題対策⑧（入門） 27 総合問題対策⑨（入門） 28 総合問題対策⑨（入門） 29 模擬試験（計算） 30 模擬試験（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験（理論）100%
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	43	
授業科目	消費税法総合 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）	
授業コマ数	9 0 回	
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 個別問題対策①（初級編） 2 個別問題対策②（初級編） 3 個別問題対策③（初級編） 4 個別問題対策④（初級編） 5 個別問題対策⑤（初級編） 6 個別問題対策⑥（初級編） 7 個別問題対策⑦（初級編） 8 個別問題対策⑧（初級編） 9 個別問題対策⑨（初級編） 10 個別問題対策⑩（初級編） 11 個別問題対策⑪（初級編） 12 個別問題対策⑫（初級編） 13 個別問題対策⑬（初級編） 14 個別問題対策⑭（初級編） 15 理論問題対策①（初級編） 16 理論問題対策②（初級編） 17 理論問題対策③（初級編） 18 理論問題対策④（初級編） 19 理論問題対策⑤（初級編） 20 理論問題対策⑥（初級編） 21 理論問題対策⑦（初級編） 22 理論問題対策⑧（初級編） 23 理論問題対策⑨（初級編） 24 理論問題対策⑩（初級編） 25 理論問題対策⑪（初級編） 26 理論問題対策⑫（初級編） 27 理論問題対策⑬（初級編） 28 総合問題対策①（初級編） 29 総合問題対策②（初級編） 30 総合問題対策③（初級編） 31 総合問題対策④（初級編） 32 総合問題対策⑤（初級編） 33 総合問題対策⑥（初級編） 34 総合問題対策⑦（初級編） 35 総合問題対策⑧（初級編） 36 総合問題対策⑨（初級編） 37 総合問題対策⑩（初級編） 38 総合問題対策⑪（初級編） 39 総合問題対策⑫（初級編） 40 総合問題対策⑬（初級編） 41 総合問題対策⑭（初級編） 42 総合問題対策⑮（初級編） 43 総合問題対策⑯（初級編） 44 総合問題対策⑰（初級編） 45 総合問題対策⑱（初級編）	46 総合問題対策⑲（初級編） 47 総合問題対策⑳（初級編） 48 総合問題対策㉑（初級編） 49 総合問題対策㉒（初級編） 50 総合問題対策㉓（初級編） 51 総合問題対策㉔（初級編） 52 総合問題対策㉕（初級編） 53 総合問題対策㉖（初級編） 54 総合問題対策㉗（初級編） 55 総合問題対策㉘（初級編） 56 総合問題対策㉙（初級編） 57 総合問題対策㉚（初級編） 58 総合問題対策㉛（初級編） 59 総合問題対策㉜（初級編） 60 総合問題対策㉝（初級編） 61 総合問題対策㉞（初級編） 62 総合問題対策㉟（初級編） 63 総合問題対策㊱（初級編） 64 総合問題対策㊲（初級編） 65 総合問題対策㊳（初級編） 66 総合問題対策㊴（初級編） 67 総合問題対策㊵（初級編） 68 総合問題対策㊶（初級編） 69 総合問題対策㊷（初級編） 70 総合問題対策㊸（初級編） 71 総合問題演習①（初級編） 72 総合問題演習②（初級編） 73 総合問題演習③（初級編） 74 総合問題演習④（初級編） 75 総合問題演習⑤（初級編） 76 総合問題演習⑥（初級編） 77 総合問題演習⑦（初級編） 78 総合問題演習⑧（初級編） 79 総合問題演習⑨（初級編） 80 総合問題演習⑩（初級編） 81 総合問題演習⑪（初級編） 82 総合問題演習⑫（初級編） 83 総合問題演習⑬（初級編） 84 総合問題演習⑭（初級編） 85 総合問題演習⑮（初級編） 86 総合問題演習⑯（初級編） 87 総合問題演習⑰（初級編） 88 総合問題演習⑱（初級編） 89 総合問題演習⑲（初級編） 90 総合問題演習⑲（初級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の理論 1 0 回分の平均点100%	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	44	
授業科目	相続税法総合 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）	
授業コマ数	9 0 回	
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 相続税法総まとめ①（基礎編） 2 相続税法総まとめ①（基礎編） 3 相続税法総まとめ②（基礎編） 4 相続税法総まとめ②（基礎編） 5 相続税法総まとめ③（基礎編） 6 相続税法総まとめ③（基礎編） 7 相続税法総まとめ④（基礎編） 8 相続税法総まとめ④（基礎編） 9 相続税法総まとめ⑤（基礎編） 10 相続税法総まとめ⑤（基礎編） 11 相続税法総まとめ⑥（基礎編） 12 相続税法総まとめ⑥（基礎編） 13 相続税法総まとめ⑦（基礎編） 14 相続税法総まとめ⑦（基礎編） 15 相続税法総まとめ⑧（基礎編） 16 相続税法総まとめ⑧（基礎編） 17 相続税法総まとめ⑨（基礎編） 18 相続税法総まとめ⑨（基礎編） 19 相続税法総まとめ⑩（基礎編） 20 相続税法総まとめ⑩（基礎編） 21 相続税法総まとめ⑪（基礎編） 22 相続税法総まとめ⑪（基礎編） 23 相続税法総まとめ⑫（基礎編） 24 相続税法総まとめ⑫（基礎編） 25 相続税法総まとめ⑬（基礎編） 26 相続税法総まとめ⑬（基礎編） 27 相続税法総まとめ⑭（基礎編） 28 相続税法総まとめ⑭（基礎編） 29 相続税法総まとめ⑮（基礎編） 30 相続税法総まとめ⑮（基礎編） 31 相続税法総まとめ⑯（基礎編） 32 相続税法総まとめ⑯（基礎編） 33 相続税法総まとめ⑰（基礎編） 34 相続税法総まとめ⑰（基礎編） 35 相続税法総まとめ⑱（基礎編） 36 相続税法総まとめ⑱（基礎編） 37 相続税法総まとめ⑲（基礎編） 38 相続税法総まとめ⑲（基礎編） 39 相続税法総まとめ⑳（基礎編） 40 相続税法総まとめ㉑（基礎編） 41 総合問題対策①（基礎編） 42 総合問題対策①（基礎編） 43 総合問題対策②（基礎編） 44 総合問題対策②（基礎編） 45 総合問題対策③（基礎編）	46 総合問題対策③（基礎編） 47 総合問題対策④（基礎編） 48 総合問題対策④（基礎編） 49 総合問題対策⑤（基礎編） 50 総合問題対策⑤（基礎編） 51 総合問題対策⑥（基礎編） 52 総合問題対策⑥（基礎編） 53 総合問題対策⑦（基礎編） 54 総合問題対策⑦（基礎編） 55 総合問題対策⑧（基礎編） 56 総合問題対策⑧（基礎編） 57 総合問題対策⑨（基礎編） 58 総合問題対策⑨（基礎編） 59 総合問題対策⑩（基礎編） 60 総合問題対策⑩（基礎編） 61 総合問題対策⑪（基礎編） 62 総合問題対策⑪（基礎編） 63 総合問題対策⑫（基礎編） 64 総合問題対策⑫（基礎編） 65 総合問題対策⑬（基礎編） 66 総合問題対策⑬（基礎編） 67 総合問題対策⑭（基礎編） 68 総合問題対策⑭（基礎編） 69 総合問題対策⑮（基礎編） 70 総合問題対策⑮（基礎編） 71 総合問題対策⑯（基礎編） 72 総合問題対策⑯（基礎編） 73 総合問題対策⑰（基礎編） 74 総合問題対策⑰（基礎編） 75 総合問題対策⑱（基礎編） 76 総合問題対策⑱（基礎編） 77 総合問題対策⑲（基礎編） 78 総合問題対策⑲（基礎編） 79 総合問題対策⑳（基礎編） 80 総合問題対策⑳（基礎編） 81 総合問題対策㉑（基礎編） 82 総合問題対策㉑（基礎編） 83 総合問題対策㉒（基礎編） 84 総合問題対策㉒（基礎編） 85 総合問題対策㉓（基礎編） 86 総合問題対策㉓（基礎編） 87 総合問題対策㉔（基礎編） 88 総合問題対策㉔（基礎編） 89 総合問題対策㉕（基礎編） 90 総合問題対策㉕（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題対策㉕の得点100%	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	45	
授業科目	法人税法総合 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）	
授業コマ数	9 0 回	
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 総合問題対策 1（初級） 2 総合問題対策 2（初級） 3 総合問題対策 3（初級） 4 総合問題対策 4（初級） 5 総合問題対策 5（初級） 6 総合問題対策 6（初級） 7 総合問題対策 7（初級） 8 総合問題対策 8（初級） 9 総合問題対策 9（初級） 10 総合問題対策 1 0（初級） 11 総合問題対策 1 1（初級） 12 総合問題対策 1 2（初級） 13 総合問題対策 1 3（初級） 14 総合問題対策 1 4（初級） 15 総合問題対策 1 5（初級） 16 総合問題対策 1 6（初級） 17 総合問題対策 1 7（初級） 18 総合問題対策 1 8（初級） 19 総合問題対策 1 9（初級） 20 総合問題対策 2 0（初級） 21 総合問題対策 2 1（初級） 22 総合問題対策 2 2（初級） 23 総合問題対策 2 3（初級） 24 総合問題対策 2 4（初級） 25 総合問題対策 2 5（初級） 26 総合問題対策 2 6（初級） 27 総合問題対策 2 7（初級） 28 総合問題対策 2 8（初級） 29 総合問題対策 2 9（初級） 30 総合問題対策 3 0（初級） 31 総合問題対策 3 1（初級） 32 総合問題対策 3 2（初級） 33 総合問題対策 3 3（初級） 34 総合問題対策 3 4（初級） 35 総合問題対策 3 5（初級） 36 総合問題対策 3 6（初級） 37 総合問題対策 3 7（初級） 38 総合問題対策 3 8（初級） 39 総合問題対策 3 9（初級） 40 総合問題対策 4 0（初級） 41 総合問題対策 4 1（初級） 42 総合問題対策 4 2（初級） 43 総合問題対策 4 3（初級） 44 総合問題対策 4 4（初級） 45 総合問題対策 4 5（初級）	46 総合問題対策 4 6（初級） 47 総合問題対策 4 7（初級） 48 総合問題対策 4 8（初級） 49 総合問題対策 4 9（初級） 50 総合問題対策 5 0（初級） 51 総合問題対策 5 1（初級） 52 総合問題対策 5 2（初級） 53 総合問題対策 5 3（初級） 54 総合問題対策 5 4（初級） 55 総合問題対策 5 5（初級） 56 総合問題対策 5 6（初級） 57 総合問題対策 5 7（初級） 58 総合問題対策 5 8（初級） 59 総合問題対策 5 9（初級） 60 総合問題対策 6 0（初級） 61 総合問題対策 6 1（初級） 62 総合問題対策 6 2（初級） 63 総合問題対策 6 3（初級） 64 総合問題対策 6 4（初級） 65 総合問題対策 6 5（初級） 66 総合問題対策 6 6（初級） 67 総合問題対策 6 7（初級） 68 総合問題対策 6 8（初級） 69 総合問題対策 6 9（初級） 70 総合問題対策 7 0（初級） 71 総合問題演習 1（初級：計算） 72 総合問題演習 1（初級：理論） 73 総合問題演習 2（初級：計算） 74 総合問題演習 2（初級：理論） 75 総合問題演習 3（初級：計算） 76 総合問題演習 3（初級：理論） 77 総合問題演習 4（初級：計算） 78 総合問題演習 4（初級：理論） 79 総合問題演習 5（初級：計算） 80 総合問題演習 5（初級：理論） 81 総合問題演習 6（初級：計算） 82 総合問題演習 6（初級：理論） 83 総合問題演習 7（初級：計算） 84 総合問題演習 7（初級：理論） 85 総合問題演習 8（初級：計算） 86 総合問題演習 8（初級：理論） 87 総合問題演習 9（初級：計算） 88 総合問題演習 9（初級：理論） 89 総合問題演習 1 0（初級：計算） 90 総合問題演習 1 0（初級：理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習(初級:理論)で実施したテストのうち5回分の平均点100%	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	46	
授業科目	所得税法総合 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）	
授業コマ数	9 0 回	
授業概要	所得税法の計算技術習得を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	的確な解法で中級問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 総合問題対策 1（初級） 2 総合問題対策 2（初級） 3 総合問題対策 3（初級） 4 総合問題対策 4（初級） 5 総合問題対策 5（初級） 6 総合問題対策 6（初級） 7 総合問題対策 7（初級） 8 総合問題対策 8（初級） 9 総合問題対策 9（初級） 10 総合問題対策 1 0（初級） 11 総合問題対策 1 1（初級） 12 総合問題対策 1 2（初級） 13 総合問題対策 1 3（初級） 14 総合問題対策 1 4（初級） 15 総合問題対策 1 5（初級） 16 総合問題対策 1 6（初級） 17 総合問題対策 1 7（初級） 18 総合問題対策 1 8（初級） 19 総合問題対策 1 9（初級） 20 総合問題対策 2 0（初級） 21 総合問題対策 2 1（初級） 22 総合問題対策 2 2（初級） 23 総合問題対策 2 3（初級） 24 総合問題対策 2 4（初級） 25 総合問題対策 2 5（初級） 26 総合問題対策 2 6（初級） 27 総合問題対策 2 7（初級） 28 総合問題対策 2 8（初級） 29 総合問題対策 2 9（初級） 30 総合問題対策 3 0（初級） 31 総合問題対策 3 1（初級） 32 総合問題対策 3 2（初級） 33 総合問題対策 3 3（初級） 34 総合問題対策 3 4（初級） 35 総合問題対策 3 5（初級） 36 総合問題対策 3 6（初級） 37 総合問題対策 3 7（初級） 38 総合問題対策 3 8（初級） 39 総合問題対策 3 9（初級） 40 総合問題対策 4 0（初級） 41 総合問題対策 4 1（初級） 42 総合問題対策 4 2（初級） 43 総合問題対策 4 3（初級） 44 総合問題対策 4 4（初級） 45 総合問題対策 4 5（初級）	46 総合問題対策 4 6（初級） 47 総合問題対策 4 7（初級） 48 総合問題対策 4 8（初級） 49 総合問題対策 4 9（初級） 50 総合問題対策 5 0（初級） 51 総合問題対策 5 1（初級） 52 総合問題対策 5 2（初級） 53 総合問題対策 5 3（初級） 54 総合問題対策 5 4（初級） 55 総合問題対策 5 5（初級） 56 総合問題対策 5 6（初級） 57 総合問題対策 5 7（初級） 58 総合問題対策 5 8（初級） 59 総合問題対策 5 9（初級） 60 総合問題対策 6 0（初級） 61 総合問題対策 6 1（初級） 62 総合問題対策 6 2（初級） 63 総合問題対策 6 3（初級） 64 総合問題対策 6 4（初級） 65 総合問題対策 6 5（初級） 66 総合問題対策 6 6（初級） 67 総合問題対策 6 7（初級） 68 総合問題対策 6 8（初級） 69 総合問題対策 6 9（初級） 70 総合問題対策 7 0（初級） 71 総合問題演習 1（初級：計算） 72 総合問題演習 1（初級：理論） 73 総合問題演習 2（初級：計算） 74 総合問題演習 2（初級：理論） 75 総合問題演習 3（初級：計算） 76 総合問題演習 3（初級：理論） 77 総合問題演習 4（初級：計算） 78 総合問題演習 4（初級：理論） 79 総合問題演習 5（初級：計算） 80 総合問題演習 5（初級：理論） 81 総合問題演習 6（初級：計算） 82 総合問題演習 6（初級：理論） 83 総合問題演習 7（初級：計算） 84 総合問題演習 7（初級：理論） 85 総合問題演習 8（初級：計算） 86 総合問題演習 8（初級：理論） 87 総合問題演習 9（初級：計算） 88 総合問題演習 9（初級：理論） 89 総合問題演習 1 0（初級：計算） 90 総合問題演習 1 0（初級：理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習(中級:理論)で実施したテストのうち5回分の平均点100%	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	47	
授業科目	消費税法速習総合 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）	
授業コマ数	9 0 回	
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 総合問題対策①（初級編） 2 総合問題対策②（初級編） 3 総合問題対策③（初級編） 4 総合問題対策④（初級編） 5 総合問題対策⑤（初級編） 6 総合問題対策⑥（初級編） 7 総合問題対策⑦（初級編） 8 総合問題対策⑧（初級編） 9 総合問題対策⑨（初級編） 10 総合問題対策⑩（初級編） 11 総合問題対策⑪（初級編） 12 総合問題対策⑫（初級編） 13 総合問題対策⑬（初級編） 14 総合問題対策⑭（初級編） 15 総合問題対策⑮（初級編） 16 総合問題対策⑯（初級編） 17 総合問題対策⑰（初級編） 18 総合問題対策⑱（初級編） 19 総合問題対策⑲（初級編） 20 総合問題対策⑳（初級編） 21 総合問題対策㉑（初級編） 22 総合問題対策㉒（初級編） 23 総合問題対策㉓（初級編） 24 総合問題対策㉔（初級編） 25 総合問題対策㉕（初級編） 26 総合問題対策㉖（初級編） 27 総合問題対策㉗（初級編） 28 総合問題対策㉘（初級編） 29 総合問題対策㉙（初級編） 30 総合問題対策㉚（初級編） 31 総合問題対策㉛（初級編） 32 総合問題対策㉜（初級編） 33 総合問題対策㉝（初級編） 34 総合問題対策㉞（初級編） 35 総合問題対策㉟（初級編） 36 総合問題対策㊱（初級編） 37 総合問題対策㊲（初級編） 38 総合問題対策㊳（初級編） 39 総合問題対策㊴（初級編） 40 総合問題対策㊵（初級編） 41 総合問題対策㊶（初級編） 42 総合問題対策㊷（初級編） 43 総合問題対策㊸（初級編） 44 総合問題対策㊹（初級編） 45 総合問題対策㊺（初級編）	46 総合問題演習①（初級編） 47 総合問題演習①（初級編） 48 総合問題演習②（初級編） 49 総合問題演習②（初級編） 50 総合問題演習③（初級編） 51 総合問題演習③（初級編） 52 総合問題演習④（初級編） 53 総合問題演習④（初級編） 54 総合問題演習⑤（初級編） 55 総合問題演習⑤（初級編） 56 総合問題演習⑥（初級編） 57 総合問題演習⑥（初級編） 58 総合問題演習⑦（初級編） 59 総合問題演習⑦（初級編） 60 総合問題演習⑧（初級編） 61 総合問題演習⑧（初級編） 62 総合問題演習⑨（初級編） 63 総合問題演習⑨（初級編） 64 総合問題演習⑩（初級編） 65 総合問題演習⑩（初級編） 66 総合問題演習⑪（初級編） 67 総合問題演習⑪（初級編） 68 総合問題演習⑫（初級編） 69 総合問題演習⑫（初級編） 70 総合問題演習⑬（初級編） 71 総合問題演習⑬（初級編） 72 総合問題演習⑭（初級編） 73 総合問題演習⑭（初級編） 74 総合問題演習⑮（初級編） 75 総合問題演習⑮（初級編） 76 総合問題演習⑯（初級編） 77 総合問題演習⑯（初級編） 78 総合問題演習⑰（初級編） 79 総合問題演習⑰（初級編） 80 総合問題演習⑱（初級編） 81 総合問題演習⑱（初級編） 82 総合問題演習⑲（初級編） 83 総合問題演習⑲（初級編） 84 総合問題演習⑳（初級編） 85 総合問題演習⑳（初級編） 86 総合問題演習㉑（初級編） 87 総合問題演習㉑（初級編） 88 総合問題演習㉒（初級編） 89 総合問題演習㉒（初級編） 90 総合問題演習㉓（初級編）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習の理論 5 回分の平均点100%	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	48	
授業科目	簿記論応用Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	180時間（6単位）	
授業コマ数	90回	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 税効果会計Ⅰ①（入門編） 2 税効果会計Ⅰ②（入門編） 3 税効果会計Ⅰ③（入門編） 4 税効果会計Ⅰ④（入門編） 5 税効果会計Ⅰ⑤（入門編） 6 税効果会計Ⅰ⑥（入門編） 7 税効果会計Ⅰ⑦（入門編） 8 税効果会計Ⅰ⑧（入門編） 9 税効果会計Ⅰ⑨（入門編） 10 税効果会計Ⅰ⑩（入門編） 11 現在価値計算Ⅰ①（入門編） 12 現在価値計算Ⅰ②（入門編） 13 現在価値計算Ⅰ③（入門編） 14 現在価値計算Ⅰ④（入門編） 15 現在価値計算Ⅰ⑤（入門編） 16 現在価値計算Ⅰ⑥（入門編） 17 保険金Ⅰ①（入門編） 18 保険金Ⅰ②（入門編） 19 保険金Ⅰ③（入門編） 20 保険金Ⅰ④（入門編） 21 保険金Ⅰ⑤（入門編） 22 保険金Ⅰ⑥（入門編） 23 新株予約権付社債Ⅰ①（入門編） 24 新株予約権付社債Ⅰ②（入門編） 25 新株予約権付社債Ⅰ③（入門編） 26 新株予約権付社債Ⅰ④（入門編） 27 新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編） 28 新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編） 29 減損会計Ⅰ①（入門編） 30 減損会計Ⅰ②（入門編） 31 減損会計Ⅰ③（入門編） 32 減損会計Ⅰ④（入門編） 33 減損会計Ⅰ⑤（入門編） 34 減損会計Ⅰ⑥（入門編） 35 資産除去債務Ⅰ①（入門編） 36 資産除去債務Ⅰ②（入門編） 37 資産除去債務Ⅰ③（入門編） 38 資産除去債務Ⅰ④（入門編） 39 資産除去債務Ⅰ⑤（入門編） 40 資産除去債務Ⅰ⑥（入門編） 41 外貨建会計Ⅰ①（入門編） 42 外貨建会計Ⅰ②（入門編） 43 外貨建会計Ⅰ③（入門編） 44 外貨建会計Ⅰ④（入門編） 45 外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）	46 リース会計Ⅰ①（入門編） 47 リース会計Ⅰ②（入門編） 48 リース会計Ⅰ③（入門編） 49 リース会計Ⅰ④（入門編） 50 リース会計Ⅰ⑤（入門編） 51 リース会計Ⅰ⑥（入門編） 52 試用販売Ⅰ①（入門編） 53 試用販売Ⅰ②（入門編） 54 試用販売Ⅰ③（入門編） 55 試用販売Ⅰ④（入門編） 56 試用販売Ⅰ⑤（入門編） 57 試用販売Ⅰ⑥（入門編） 58 試用販売Ⅰ⑦（入門編） 59 試用販売Ⅰ⑧（入門編） 60 試用販売Ⅰ⑨（入門編） 61 割賦販売Ⅰ①（入門編） 62 割賦販売Ⅰ②（入門編） 63 割賦販売Ⅰ③（入門編） 64 割賦販売Ⅰ④（入門編） 65 割賦販売Ⅰ⑤（入門編） 66 割賦販売Ⅰ⑥（入門編） 67 割賦販売Ⅰ⑦（入門編） 68 割賦販売Ⅰ⑧（入門編） 69 割賦販売Ⅰ⑨（入門編） 70 割賦販売Ⅰ⑩（入門編） 71 未着品販売Ⅰ①（入門編） 72 未着品販売Ⅰ②（入門編） 73 未着品販売Ⅰ③（入門編） 74 未着品販売Ⅰ④（入門編） 75 未着品販売Ⅰ⑤（入門編） 76 未着品販売Ⅰ⑥（入門編） 77 未着品販売Ⅰ⑦（入門編） 78 未着品販売Ⅰ⑧（入門編） 79 未着品販売Ⅰ⑨（入門編） 80 委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編） 81 委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編） 82 委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編） 83 委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編） 84 委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編） 85 委託販売・受託販売Ⅰ⑥（入門編） 86 委託販売・受託販売Ⅰ⑦（入門編） 87 委託販売・受託販売Ⅰ⑧（入門編） 88 委託販売・受託販売Ⅰ⑨（入門編） 89 委託販売・受託販売Ⅰ⑩（入門編） 90 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	49	
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45回	
授業概要	会社法入門・基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎） 2 会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎） 3 分配可能額①（入門・基礎） 4 分配可能額②（入門・基礎） 5 ストック・オプション①（入門・基礎） 6 ストック・オプション②（入門・基礎） 7 セール&リースバック①（入門・基礎） 8 セール&リースバック②（入門・基礎） 9 セール&リースバック③（入門・基礎） 10 財務諸表等規則①（入門・基礎） 11 財務諸表等規則②（入門・基礎） 12 財務諸表等規則③（入門・基礎） 13 負債①（入門・基礎） 14 負債②（入門・基礎） 15 負債③（入門・基礎） 16 純資産会計①（入門・基礎） 17 純資産会計②（入門・基礎） 18 純資産会計③（入門・基礎） 19 純資産会計④（入門・基礎） 20 純資産会計⑤（入門・基礎） 21 企業結合会計①（入門・基礎） 22 企業結合会計②（入門・基礎） 23 企業結合会計③（入門・基礎） 24 企業結合会計④（入門・基礎） 25 企業結合会計⑤（入門・基礎） 26 事業分離会計①（入門・基礎） 27 事業分離会計②（入門・基礎） 28 事業分離会計③（入門・基礎） 29 事業分離会計④（入門・基礎） 30 事業分離会計⑤（入門・基礎）	31 四半期財務諸表①（入門・基礎） 32 四半期財務諸表②（入門・基礎） 33 四半期財務諸表③（入門・基礎） 34 四半期財務諸表④（入門・基礎） 35 四半期財務諸表⑤（入門・基礎） 36 ヘッジ会計①（入門・基礎） 37 ヘッジ会計②（入門・基礎） 38 ヘッジ会計③（入門・基礎） 39 ヘッジ会計④（入門・基礎） 40 包括利益①（入門・基礎） 41 包括利益②（入門・基礎） 42 包括利益③（入門・基礎） 43 包括利益④（入門・基礎） 44 包括利益⑤（入門・基礎） 45 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	50
授業科目	簿記論総合Ⅱ
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本支店会計Ⅰ（入門編）</li> <li>2 組織再編会計Ⅰ（入門編）</li> <li>3 建設業会計Ⅰ（入門編）</li> <li>4 連結会計Ⅰ（入門編）</li> <li>5 製造業会計Ⅰ（入門編）</li> <li>6 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ（入門編）</li> <li>7 繰延資産Ⅰ（入門編）</li> <li>8 圧縮記帳Ⅰ（入門編）</li> <li>9 スtock・オプションⅠ（入門編）</li> <li>10 現金預金Ⅱ（入門編）</li> <li>11 債権債務Ⅱ（入門編）</li> <li>12 商品売買Ⅱ（入門編）</li> <li>13 固定資産Ⅱ（入門編）</li> <li>14 退職給付会計Ⅱ（入門編）</li> <li>15 債権債務Ⅱ（入門編）</li> <li>16 税金Ⅱ（入門編）</li> <li>17 社債Ⅱ（入門編）</li> <li>18 純資産会計Ⅱ（入門編）</li> <li>19 有価証券Ⅱ（入門編）</li> <li>20 外貨建会計Ⅱ（入門編）</li> <li>21 リース会計Ⅱ（入門編）</li> <li>22 試用販売Ⅱ（入門編）</li> <li>23 割賦販売Ⅱ（入門編）</li> <li>24 未着品販売Ⅱ（入門編）</li> <li>25 委託販売・受託販売Ⅱ（入門編）</li> <li>26 本支店会計Ⅱ（入門編）</li> <li>27 組織再編会計Ⅱ（入門編）</li> <li>28 連結会計Ⅱ（入門編）</li> <li>29 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ（入門編）</li> <li>30 模擬試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	51
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表論総まとめ①（入門・基礎） 2 財務諸表論総まとめ①（入門・基礎） 3 財務諸表論総まとめ②（入門・基礎） 4 財務諸表論総まとめ②（入門・基礎） 5 財務諸表論総まとめ③（入門・基礎） 6 財務諸表論総まとめ③（入門・基礎） 7 財務諸表論総まとめ④（入門・基礎） 8 財務諸表論総まとめ④（入門・基礎） 9 財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎） 10 財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎） 11 総合問題対策①（入門・基礎） 12 総合問題対策①（入門・基礎） 13 総合問題対策②（入門・基礎） 14 総合問題対策②（入門・基礎） 15 総合問題対策③（入門・基礎） 16 総合問題対策③（入門） 17 総合問題対策④（入門） 18 総合問題対策④（入門） 19 総合問題対策⑤（入門） 20 総合問題対策⑤（入門） 21 総合問題対策⑥（入門） 22 総合問題対策⑥（入門） 23 総合問題対策⑦（入門） 24 総合問題対策⑦（入門） 25 総合問題対策⑧（入門） 26 総合問題対策⑧（入門） 27 総合問題対策⑨（入門） 28 総合問題対策⑨（入門） 29 模擬試験（計算） 30 模擬試験（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験（理論）100%
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	52	
授業科目	簿記論速習基礎Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	180時間（6単位）	
授業コマ数	90回	
授業概要	簿記の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①（応用編） 2 簿記の概要Ⅰ②（応用編） 3 簿記の概要Ⅰ③（応用編） 4 簿記の概要Ⅰ④（応用編） 5 簿記の概要Ⅰ⑤（応用編） 6 簿記の概要Ⅰ⑥（応用編） 7 現金預金Ⅰ①（応用編） 8 現金預金Ⅰ②（応用編） 9 現金預金Ⅰ③（応用編） 10 現金預金Ⅰ④（応用編） 11 現金預金Ⅰ⑤（応用編） 12 現金預金Ⅰ⑥（応用編） 13 債権債務Ⅰ①（応用編） 14 債権債務Ⅰ②（応用編） 15 債権債務Ⅰ③（応用編） 16 債権債務Ⅰ④（応用編） 17 債権債務Ⅰ⑤（応用編） 18 債権債務Ⅰ⑥（応用編） 19 商品売買Ⅰ①（応用編） 20 商品売買Ⅰ②（応用編） 21 商品売買Ⅰ③（応用編） 22 商品売買Ⅰ④（応用編） 23 商品売買Ⅰ⑤（応用編） 24 商品売買Ⅰ⑥（応用編） 25 給料等Ⅰ①（応用編） 26 給料等Ⅰ②（応用編） 27 給料等Ⅰ③（応用編） 28 給料等Ⅰ④（応用編） 29 給料等Ⅰ⑤（応用編） 30 給料等Ⅰ⑥（応用編） 31 固定資産Ⅰ①（応用編） 32 固定資産Ⅰ②（応用編） 33 固定資産Ⅰ③（応用編） 34 固定資産Ⅰ④（応用編） 35 固定資産Ⅰ⑤（応用編） 36 固定資産Ⅰ⑥（応用編） 37 固定資産Ⅰ⑦（応用編） 38 ソフトウェアⅠ①（応用編） 39 ソフトウェアⅠ②（応用編） 40 ソフトウェアⅠ③（応用編） 41 ソフトウェアⅠ④（応用編） 42 ソフトウェアⅠ⑤（応用編） 43 ソフトウェアⅠ⑥（応用編） 44 債権債務Ⅰ①（応用編） 45 債権債務Ⅰ②（応用編）	46 債権債務Ⅰ③（応用編） 47 債権債務Ⅰ④（応用編） 48 債権債務Ⅰ⑤（応用編） 49 債権債務Ⅰ⑥（応用編） 50 債権債務Ⅰ⑦（応用編） 51 債権債務Ⅰ⑧（応用編） 52 債権債務Ⅰ⑨（応用編） 53 債権債務Ⅰ⑩（応用編） 54 貸倒れⅠ①（応用編） 55 貸倒れⅠ②（応用編） 56 貸倒れⅠ③（応用編） 57 貸倒れⅠ④（応用編） 58 貸倒れⅠ⑤（応用編） 59 退職給付会計Ⅰ①（応用編） 60 退職給付会計Ⅰ②（応用編） 61 退職給付会計Ⅰ③（応用編） 62 退職給付会計Ⅰ④（応用編） 63 退職給付会計Ⅰ⑤（応用編） 64 退職給付会計Ⅰ⑥（応用編） 65 退職給付会計Ⅰ⑦（応用編） 66 税金Ⅰ①（応用編） 67 税金Ⅰ②（応用編） 68 税金Ⅰ③（応用編） 69 税金Ⅰ④（応用編） 70 税金Ⅰ⑤（応用編） 71 税金Ⅰ⑥（応用編） 72 社債Ⅰ①（応用編） 73 社債Ⅰ②（応用編） 74 社債Ⅰ③（応用編） 75 社債Ⅰ④（応用編） 76 社債Ⅰ⑤（応用編） 77 社債Ⅰ⑥（応用編） 78 純資産会計Ⅰ①（応用編） 79 純資産会計Ⅰ②（応用編） 80 純資産会計Ⅰ③（応用編） 81 純資産会計Ⅰ④（応用編） 82 純資産会計Ⅰ⑤（応用編） 83 純資産会計Ⅰ⑥（応用編） 84 有価証券Ⅰ①（応用編） 85 有価証券Ⅰ②（応用編） 86 有価証券Ⅰ③（応用編） 87 有価証券Ⅰ④（応用編） 88 有価証券Ⅰ⑤（応用編） 89 有価証券Ⅰ⑥（応用編） 90 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	簿記論速習応用Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	180時間（6単位）	
授業コマ数	90回	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 税効果会計Ⅰ①（応用編） 2 税効果会計Ⅰ②（応用編） 3 税効果会計Ⅰ③（応用編） 4 税効果会計Ⅰ④（応用編） 5 税効果会計Ⅰ⑤（応用編） 6 税効果会計Ⅰ⑥（応用編） 7 税効果会計Ⅰ⑦（応用編） 8 税効果会計Ⅰ⑧（応用編） 9 税効果会計Ⅰ⑨（応用編） 10 税効果会計Ⅰ⑩（応用編） 11 現在価値計算Ⅰ①（応用編） 12 現在価値計算Ⅰ②（応用編） 13 現在価値計算Ⅰ③（応用編） 14 現在価値計算Ⅰ④（応用編） 15 現在価値計算Ⅰ⑤（応用編） 16 現在価値計算Ⅰ⑥（応用編） 17 保険金Ⅰ①（応用編） 18 保険金Ⅰ②（応用編） 19 保険金Ⅰ③（応用編） 20 保険金Ⅰ④（応用編） 21 保険金Ⅰ⑤（応用編） 22 保険金Ⅰ⑥（応用編） 23 新株予約権付社債Ⅰ①（応用編） 24 新株予約権付社債Ⅰ②（応用編） 25 新株予約権付社債Ⅰ③（応用編） 26 新株予約権付社債Ⅰ④（応用編） 27 新株予約権付社債Ⅰ⑤（応用編） 28 新株予約権付社債Ⅰ⑥（応用編） 29 新株予約権付社債Ⅰ⑦（応用編） 30 新株予約権付社債Ⅰ⑧（応用編） 31 減損会計Ⅰ①（応用編） 32 減損会計Ⅰ②（応用編） 33 減損会計Ⅰ③（応用編） 34 減損会計Ⅰ④（応用編） 35 減損会計Ⅰ⑤（応用編） 36 減損会計Ⅰ⑥（応用編） 37 減損会計Ⅰ⑦（応用編） 38 資産除去債務Ⅰ①（応用編） 39 資産除去債務Ⅰ②（応用編） 40 資産除去債務Ⅰ③（応用編） 41 資産除去債務Ⅰ④（応用編） 42 資産除去債務Ⅰ⑤（応用編） 43 資産除去債務Ⅰ⑥（応用編） 44 外貨建会計Ⅰ①（応用編） 45 外貨建会計Ⅰ②（応用編）	46 外貨建会計Ⅰ③（応用編） 47 外貨建会計Ⅰ④（応用編） 48 外貨建会計Ⅰ⑤（応用編） 49 外貨建会計Ⅰ⑥（応用編） 50 外貨建会計Ⅰ⑦（応用編） 51 外貨建会計Ⅰ⑧（応用編） 52 リース会計Ⅰ①（応用編） 53 リース会計Ⅰ②（応用編） 54 リース会計Ⅰ③（応用編） 55 リース会計Ⅰ④（応用編） 56 リース会計Ⅰ⑤（応用編） 57 リース会計Ⅰ⑥（応用編） 58 リース会計Ⅰ⑦（応用編） 59 リース会計Ⅰ⑧（応用編） 60 試用販売Ⅰ①（応用編） 61 試用販売Ⅰ②（応用編） 62 試用販売Ⅰ③（応用編） 63 試用販売Ⅰ④（応用編） 64 試用販売Ⅰ⑤（応用編） 65 試用販売Ⅰ⑥（応用編） 66 試用販売Ⅰ⑦（応用編） 67 試用販売Ⅰ⑧（応用編） 68 割賦販売Ⅰ①（応用編） 69 割賦販売Ⅰ②（応用編） 70 割賦販売Ⅰ③（応用編） 71 割賦販売Ⅰ④（応用編） 72 割賦販売Ⅰ⑤（応用編） 73 割賦販売Ⅰ⑥（応用編） 74 割賦販売Ⅰ⑦（応用編） 75 割賦販売Ⅰ⑧（応用編） 76 未着品販売Ⅰ①（応用編） 77 未着品販売Ⅰ②（応用編） 78 未着品販売Ⅰ③（応用編） 79 未着品販売Ⅰ④（応用編） 80 未着品販売Ⅰ⑤（応用編） 81 未着品販売Ⅰ⑥（応用編） 82 未着品販売Ⅰ⑦（応用編） 83 委託販売・受託販売Ⅰ①（応用編） 84 委託販売・受託販売Ⅰ②（応用編） 85 委託販売・受託販売Ⅰ③（応用編） 86 委託販売・受託販売Ⅰ④（応用編） 87 委託販売・受託販売Ⅰ⑤（応用編） 88 委託販売・受託販売Ⅰ⑥（応用編） 89 委託販売・受託販売Ⅰ⑦（応用編） 90 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	54	
授業科目	簿記論速習総合Ⅲ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	総合問題論点の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 本支店会計Ⅰ①（応用編） 2 本支店会計Ⅰ②（応用編） 3 本支店会計Ⅰ③（応用編） 4 本支店会計Ⅰ④（応用編） 5 本支店会計Ⅰ⑤（応用編） 6 本支店会計Ⅰ⑥（応用編） 7 組織再編会計Ⅰ①（応用編） 8 組織再編会計Ⅰ②（応用編） 9 組織再編会計Ⅰ③（応用編） 10 組織再編会計Ⅰ④（応用編） 11 組織再編会計Ⅰ⑤（応用編） 12 組織再編会計Ⅰ⑥（応用編） 13 組織再編会計Ⅰ⑦（応用編） 14 建設業会計Ⅰ①（応用編） 15 建設業会計Ⅰ②（応用編） 16 建設業会計Ⅰ③（応用編） 17 建設業会計Ⅰ④（応用編） 18 建設業会計Ⅰ⑤（応用編） 19 建設業会計Ⅰ⑥（応用編） 20 建設業会計Ⅰ⑦（応用編） 21 連結会計Ⅰ①（応用編） 22 連結会計Ⅰ②（応用編） 23 連結会計Ⅰ③（応用編） 24 連結会計Ⅰ④（応用編） 25 連結会計Ⅰ⑤（応用編） 26 連結会計Ⅰ⑥（応用編） 27 連結会計Ⅰ⑦（応用編） 28 製造業会計Ⅰ①（応用編） 29 製造業会計Ⅰ②（応用編） 30 製造業会計Ⅰ③（応用編）	31 製造業会計Ⅰ④（応用編） 32 製造業会計Ⅰ⑤（応用編） 33 製造業会計Ⅰ⑥（応用編） 34 製造業会計Ⅰ⑦（応用編） 35 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（応用編） 36 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（応用編） 37 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（応用編） 38 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（応用編） 39 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ⑤（応用編） 40 繰延資産Ⅰ①（応用編） 41 繰延資産Ⅰ②（応用編） 42 圧縮記帳Ⅰ①（応用編） 43 圧縮記帳Ⅰ②（応用編） 44 スtock・オプションⅠ（応用編） 45 商品売買Ⅱ①（応用編） 46 商品売買Ⅱ②（応用編） 47 固定資産Ⅱ①（応用編） 48 固定資産Ⅱ②（応用編） 49 退職給付会計Ⅱ①（応用編） 50 退職給付会計Ⅱ②（応用編） 51 試用販売Ⅱ①（応用編） 52 試用販売Ⅱ②（応用編） 53 割賦販売Ⅱ①（応用編） 54 割賦販売Ⅱ②（応用編） 55 本支店会計Ⅱ①（応用編） 56 本支店会計Ⅱ②（応用編） 57 組織再編会計Ⅱ①（応用編） 58 組織再編会計Ⅱ②（応用編） 59 連結会計Ⅱ①（応用編） 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	55	
授業科目	簿記論速習総合Ⅳ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 項目別答練①（入門編） 2 項目別答練②（入門編） 3 項目別答練③（入門編） 4 項目別答練④（入門編） 5 項目別答練⑤（入門編） 6 項目別答練⑥（入門編） 7 項目別答練⑦（入門編） 8 項目別答練⑧（入門編） 9 基礎答練①（入門編） 10 基礎答練②（入門編） 11 基礎答練③（入門編） 12 基礎答練④（入門編） 13 基礎答練⑤（入門編） 14 基礎答練⑥（入門編） 15 基礎答練⑦（入門編） 16 基礎答練⑧（入門編） 17 基礎答練⑨（入門編） 18 基礎答練⑩（入門編） 19 基礎答練⑪（入門編） 20 基礎答練⑫（入門編） 21 基礎答練⑬（入門編） 22 応用答練①（入門編） 23 応用答練②（入門編） 24 応用答練③（入門編） 25 応用答練④（入門編） 26 応用答練⑤（入門編） 27 応用答練⑥（入門編） 28 応用答練⑦（入門編） 29 応用答練⑧（入門編） 30 応用答練⑨（入門編）	31 応用答練⑩（入門編） 32 応用答練⑪（入門編） 33 応用答練⑫（入門編） 34 応用答練⑬（入門編） 35 過去問演習①（入門編） 36 過去問演習②（入門編） 37 過去問演習③（入門編） 38 過去問演習④（入門編） 39 過去問演習⑤（入門編） 40 過去問演習⑥（入門編） 41 過去問演習⑦（入門編） 42 過去問演習⑧（入門編） 43 過去問演習⑨（入門編） 44 過去問演習⑩（入門編） 45 過去問演習⑪（入門編） 46 過去問演習⑫（入門編） 47 過去問演習⑬（入門編） 48 問題演習実践①（入門編） 49 問題演習実践②（入門編） 50 問題演習実践③（入門編） 51 問題演習実践④（入門編） 52 問題演習実践⑤（入門編） 53 問題演習実践⑥（入門編） 54 問題演習実践⑦（入門編） 55 問題演習実践⑧（入門編） 56 問題演習実践⑨（入門編） 57 問題演習実践⑩（入門編） 58 問題演習実践⑪（入門編） 59 問題演習実践⑫（入門編） 60 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	56	
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅲ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 総論①（基礎編） 2 総論②（基礎編） 3 収益と費用（基礎編） 4 棚卸資産①（基礎編） 5 棚卸資産②（基礎編） 6 棚卸資産③（基礎編） 7 現金預金①（基礎編） 8 現金預金②（基礎編） 9 債権・債務等（基礎編） 10 有価証券①（基礎編） 11 有価証券②（基礎編） 12 有価証券③（基礎編） 13 有価証券④（基礎編） 14 有価証券⑤（基礎編） 15 有価証券⑥（基礎編） 16 固定資産①（基礎編） 17 固定資産②（基礎編） 18 固定資産③（基礎編） 19 固定資産④（基礎編） 20 固定資産⑤（基礎編） 21 固定資産⑥（基礎編） 22 為替換算会計①（基礎編） 23 為替換算会計②（基礎編） 24 為替換算会計③（基礎編） 25 引当金①（基礎編） 26 引当金②（基礎編） 27 引当金③（基礎編） 28 法人税等①（基礎編） 29 法人税等②（基礎編） 30 法人税等③（基礎編）	31 株式会社の純資産①（基礎編） 32 株式会社の純資産②（基礎編） 33 株式会社の純資産③（基礎編） 34 企業結合（基礎編） 35 株主資本等変動計算書①（基礎編） 36 株主資本等変動計算書②（基礎編） 37 連結会計①（基礎編） 38 連結会計②（基礎編） 39 連結会計③（基礎編） 40 連結会計④（基礎編） 41 連結会計⑤（基礎編） 42 連結会計⑥（基礎編） 43 連結会計⑦（基礎編） 44 連結会計⑧（基礎編） 45 連結会計⑨（基礎編） 46 総復習 47 総復習 48 総復習 49 総復習 50 総復習 51 総復習 52 総復習 53 総復習 54 総復習 55 総復習 56 総復習 57 総復習 58 総復習 59 総復習 60 総復習
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	57	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅲ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記の基礎 2 工業簿記の記帳体系（個別原価計算） 3 材料費会計① 4 材料費会計② 5 労務費会計① 6 労務費会計② 7 経費会計 8 製造間接費会計① 9 製造間接費会計② 10 単純個別原価計算① 11 単純個別原価計算② 12 単純個別原価計算③ 13 部門別計算① 14 部門別計算② 15 部門別計算③ 16 確認テスト（第1回） 17 工企業の財務諸表① 18 工企業の財務諸表② 19 工業簿記の記帳体系（総合原価計算） 20 総合原価計算① 21 総合原価計算② 22 総合原価計算③ 23 総合原価計算④ 24 総合原価計算⑤ 25 総合原価計算⑥ 26 工程別総合原価計算① 27 工程別総合原価計算② 28 組別総合原価計算 29 等級別総合原価計算① 30 等級別総合原価計算②	31 標準原価計算① 32 標準原価計算② 33 標準原価計算③ 34 原価・営業量・利益関係の分析① 35 原価・営業量・利益関係の分析② 36 工場会計の独立 37 直接原価計算① 38 直接原価計算② 39 確認テスト（第2回） 40 工業簿記総まとめ① 41 工業簿記総まとめ② 42 工業簿記総まとめ③ 43 工業簿記総まとめ④ 44 工業簿記総まとめ⑤ 45 工業簿記総まとめ⑥ 46 総復習 47 総復習 48 総復習 49 総復習 50 総復習 51 総復習 52 総復習 53 総復習 54 総復習 55 総復習 56 総復習 57 総復習 58 総復習 59 総復習 60 総復習
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	58	
授業科目	2級簿記総合Ⅳ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（応用編） 2 商業簿記総まとめ②（応用編） 3 商業簿記総まとめ③（応用編） 4 商業簿記総まとめ④（応用編） 5 商業簿記総まとめ⑤（応用編） 6 商業簿記総まとめ⑥（応用編） 7 商業簿記総まとめ⑦（応用編） 8 商業簿記総まとめ⑧（応用編） 9 商業簿記総まとめ⑨（応用編） 10 商業簿記総まとめ⑩（応用編） 11 商業簿記総まとめ⑪（応用編） 12 商業簿記総まとめ⑫（応用編） 13 商業簿記総まとめ⑬（応用編） 14 商業簿記総まとめ⑭（応用編） 15 商業簿記総まとめ⑮（応用編） 16 工業簿記総まとめ①（応用編） 17 工業簿記総まとめ②（応用編） 18 工業簿記総まとめ③（応用編） 19 工業簿記総まとめ④（応用編） 20 工業簿記総まとめ⑤（応用編） 21 工業簿記総まとめ⑥（応用編） 22 工業簿記総まとめ⑦（応用編） 23 工業簿記総まとめ⑧（応用編） 24 工業簿記総まとめ⑨（応用編） 25 工業簿記総まとめ⑩（応用編） 26 工業簿記総まとめ⑪（応用編） 27 工業簿記総まとめ⑫（応用編） 28 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 29 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 30 総合問題演習①（テスト形式_応用編）	31 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 32 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 33 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 34 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 35 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 36 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 37 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 38 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 39 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 40 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 41 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 42 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 43 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 44 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 45 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 46 総復習 47 総復習 48 総復習 49 総復習 50 総復習 51 総復習 52 総復習 53 総復習 54 総復習 55 総復習 56 総復習 57 総復習 58 総復習 59 総復習 60 総復習
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	59	
授業科目	1級会計学入門Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 財務諸表① 2 財務諸表② 3 有価証券① 4 有価証券② 5 有価証券③ 6 デリバティブ取引・ヘッジ会計① 7 デリバティブ取引・ヘッジ会計② 8 有形固定資産① 9 有形固定資産② 10 割引現在価値① 11 割引現在価値② 12 リース取引① 13 リース取引② 14 固定資産の減損① 15 固定資産の減損② 16 研究開発費とソフトウェア① 17 研究開発費とソフトウェア② 18 繰延資産、社債① 19 繰延資産、社債② 20 引当金① 21 引当金② 22 退職給付① 23 退職給付② 24 資産除去債務、純資産① 25 資産除去債務、純資産② 26 新株予約権と新株予約権付社債 27 ストック・オプション 28 税効果会計① 29 税効果会計② 30 外貨建取引①	31 外貨建取引② 32 商品売買等① 33 商品売買等② 34 工事契約① 35 工事契約② 36 本支店会計① 37 本支店会計② 38 資本連結① 39 資本連結② 40 成果連結① 41 成果連結② 42 持分法① 43 持分法② 44 連結税効果会計① 45 連結税効果会計② 46 包括利益① 47 包括利益② 48 在外子会社① 49 在外子会社② 50 企業結合① 51 企業結合② 52 事業分離① 53 事業分離② 54 事業分離③ 55 事業分離④ 56 キャッシュフロー計算書① 57 キャッシュフロー計算書② 58 連結キャッシュフロー計算書① 59 連結キャッシュフロー計算書② 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	60	
授業科目	1級原価計算入門Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記と原価計算① 2 工業簿記と原価計算② 3 費目別計算① 4 費目別計算② 5 費目別計算③ 6 費目別計算④ 7 部門別計算① 8 部門別計算② 9 部門別計算③ 10 部門別計算④ 11 個別原価計算① 12 個別原価計算② 13 個別原価計算③ 14 個別原価計算④ 15 総合原価計算① 16 総合原価計算② 17 総合原価計算③ 18 総合原価計算④ 19 総合原価計算⑤ 20 総合原価計算⑥ 21 標準原価計算① 22 標準原価計算② 23 標準原価計算③ 24 標準原価計算④ 25 標準原価計算⑤ 26 標準原価計算⑥ 27 標準原価計算⑦ 28 標準原価計算⑧ 29 標準原価計算⑨ 30 標準原価計算⑩	31 直接原価計算① 32 直接原価計算② 33 直接原価計算③ 34 直接原価計算④ 35 直接原価計算⑤ 36 短期利益計画① 37 短期利益計画② 38 短期利益計画③ 39 短期利益計画④ 40 短期利益計画⑤ 41 予算管理① 42 予算管理② 43 予算管理③ 44 予算管理④ 45 予算管理⑤ 46 意思決定会計① 47 意思決定会計② 48 意思決定会計③ 49 意思決定会計④ 50 意思決定会計⑤ 51 意思決定会計⑥ 52 意思決定会計⑦ 53 意思決定会計⑧ 54 意思決定会計⑨ 55 意思決定会計⑩ 56 戦略的原価計算① 57 戦略的原価計算② 58 戦略的原価計算③ 59 戦略的原価計算④ 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	61
授業科目	国税徴収法総合 I
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60 時間（2 単位）
授業コマ数	30 回
授業概要	納税の猶予を中心とした国税通則法の規定を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（初級）</li> <li>2 交付要求及び督促時効（初級）</li> <li>3 参加差押え（初級）</li> <li>4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（初級）</li> <li>5 換価配当（初級）</li> <li>6 担保のための仮登記（初級）</li> <li>7 物上代位権との調整（初級）</li> <li>8 納期限未到来の納税の猶予（初級）</li> <li>9 災害等による一般の納税の猶予（初級）</li> <li>10 換価の猶予（初級）</li> <li>11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（初級）</li> <li>12 納税の猶予の効果、取消、短縮（初級）</li> <li>13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（初級）</li> <li>14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（初級）</li> <li>15 国税の担保（初級）</li> <li>16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（初級）</li> <li>17 保全措置（初級）</li> <li>18 滞納処分の停止（初級）</li> <li>19 納付委託・弁済委託（初級）</li> <li>20 第二次納税義務（通則）（初級）</li> <li>21 第二次納税義務（人的限度）（初級）</li> <li>22 第二次納税義務（物的限度）（初級）</li> <li>23 不服申立（初級）</li> <li>24 滞納処分費（初級）</li> <li>25 納付義務の承継（初級）</li> <li>26 質権及び抵当権の優先額の限度（初級）</li> <li>27 増額登記（初級）</li> <li>28 総合問題演習 1（初級）</li> <li>29 総合問題演習 2（初級）</li> <li>30 総合問題演習 3（初級）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習で実施したテスト 3 回分の平均点100%
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	62	
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	各種財産の差押え方法を中心とした税法理論を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、中級問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（中級）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（中級）
	3	強制換価手続（中級）
	4	担保の種類（中級）
	5	滞納処分の概要（中級）
	6	国税に優先する権利（中級）
	7	国税相互間の優先関係（中級）
	8	財産の調査（中級）
	9	最優先される被担保債権（中級）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（中級）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（中級）
	12	不動産賃貸の先取特権等（中級）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（中級）
	14	譲受前にある担保権（中級）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（中級）
	16	差押の制限等、解除（中級）
	17	差押の共通手続（中級）
	18	第三者からの差押換え（中級）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（中級）
	20	相続人からの差押換え（中級）
	21	動産又は有価証券の差押え（中級）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（中級）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（中級）
	24	国税徴収法第26条の計算（中級）
	25	債権の差押え（中級）
	26	不動産等の差押え（中級）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（中級）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（中級）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（中級）
	30	確認テスト（中級）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	63	
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45回	
授業概要	国税徴収法24条と26条の関係性を中心とした租税理論を学ぶ。	
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、幅広い知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で応用問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（応用） 2 交付要求及び督促時効（応用） 3 参加差押え（応用） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（応用） 5 換価配当（応用） 6 担保のための仮登記（応用） 7 物上代位権との調整（応用） 8 納期限未到来の納税の猶予（応用） 9 災害等による一般の納税の猶予（応用） 10 換価の猶予（応用） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（応用） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（応用） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（応用） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（応用） 15 国税の担保（応用） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（応用） 17 保全措置（応用） 18 滞納処分の停止（応用） 19 納付委託・弁済委託（応用） 20 第二次納税義務（通則）（応用） 21 第二次納税義務（人的限度）（応用） 22 第二次納税義務（物的限度）（応用） 23 不服申立（応用） 24 滞納処分費（応用） 25 納付義務の承継（応用） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（応用） 27 増額登記（応用） 28 質権の証明と優先権行使の否認（応用） 29 国税徴収法第26条準用（応用） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（応用）	31 総合理論対策1（初級） 32 総合理論対策2（初級） 33 総合理論対策3（初級） 34 総合理論対策4（初級） 35 総合理論対策5（初級） 36 総合理論対策6（初級） 37 総合理論対策7（初級） 38 総合理論対策8（初級） 39 総合理論対策9（初級） 40 総合問題演習1（初級） 41 総合問題演習1（初級） 42 総合問題演習2（初級） 43 総合問題演習2（初級） 44 総合問題演習3（初級） 45 総合問題演習3（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト3回分の平均点100%	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	64
授業科目	全経簿記上級総合 I
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60 時間（2 単位）
授業コマ数	30 回
授業概要	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記・会計学総まとめ①（全経速習編） 2 商業簿記・会計学総まとめ②（全経速習編） 3 工業簿記・原価計算総まとめ①（全経速習編） 4 工業簿記・原価計算総まとめ②（全経速習編） 5 商業簿記・会計学総まとめ③（全経速習編） 6 商業簿記・会計学総まとめ④（全経速習編） 7 工業簿記・原価計算総まとめ③（全経速習編） 8 工業簿記・原価計算総まとめ④（全経速習編） 9 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経速習編） 10 総合問題対策①（全経速習編） 11 総合問題対策②（全経速習編） 12 総合問題対策③（全経速習編） 13 総合問題対策④（全経速習編） 14 総合問題対策⑤（全経速習編） 15 総合問題対策⑥（全経速習編） 16 総合問題演習①（テスト形式） 17 総合問題演習①（テスト形式） 18 総合問題演習①（テスト形式） 19 総合問題演習②（テスト形式） 20 総合問題演習②（テスト形式） 21 総合問題演習②（テスト形式） 22 総合問題演習③（テスト形式） 23 総合問題演習③（テスト形式） 24 総合問題演習③（テスト形式） 25 総合問題演習④（テスト形式） 26 総合問題演習④（テスト形式） 27 総合問題演習④（テスト形式） 28 総合問題演習⑤（テスト形式） 29 総合問題演習⑤（テスト形式） 30 総合問題演習⑤（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	65	
授業科目	簿記論入門Ⅲ	
実務家教員授業	— —	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①（基礎編） 2 簿記の概要Ⅰ②（基礎編） 3 簿記の概要Ⅰ③（基礎編） 4 簿記の概要Ⅰ④（基礎編） 5 現金預金Ⅰ①（基礎編） 6 現金預金Ⅰ②（基礎編） 7 現金預金Ⅰ③（基礎編） 8 現金預金Ⅰ④（基礎編） 9 現金預金Ⅰ⑤（基礎編） 10 現金預金Ⅰ⑥（基礎編） 11 債権債務Ⅰ①（基礎編） 12 債権債務Ⅰ②（基礎編） 13 債権債務Ⅰ③（基礎編） 14 債権債務Ⅰ④（基礎編） 15 商品売買Ⅰ①（基礎編） 16 商品売買Ⅰ②（基礎編） 17 商品売買Ⅰ③（基礎編） 18 商品売買Ⅰ④（基礎編） 19 商品売買Ⅰ⑤（基礎編） 20 商品売買Ⅰ⑥（基礎編） 21 給料等Ⅰ①（基礎編） 22 給料等Ⅰ②（基礎編） 23 給料等Ⅰ③（基礎編） 24 給料等Ⅰ④（基礎編） 25 問題演習①（初級） 26 問題演習①（初級） 27 問題演習②（初級） 28 問題演習②（初級） 29 問題演習③（初級） 30 問題演習③（初級）	31 問題演習④（初級） 32 問題演習④（初級） 33 問題演習⑤（初級） 34 問題演習⑤（初級） 35 問題演習⑥（初級） 36 問題演習⑥（初級） 37 問題演習⑦（初級） 38 問題演習⑦（初級） 39 問題演習⑧（初級） 40 問題演習⑧（初級） 41 問題演習⑨（初級） 42 問題演習⑨（初級） 43 問題演習⑩（初級） 44 問題演習⑩（初級） 45 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	66	
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ	
実務家教員授業	— —	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	会計学の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎） 2 個別注記表①（基礎） 3 個別注記表②（基礎） 4 現金及び預金①（基礎） 5 現金及び預金②（基礎） 6 現金及び預金③（基礎） 7 債権債務①（基礎） 8 債権債務②（基礎） 9 債権債務③（基礎） 10 関係会社概念①（基礎） 11 関係会社概念②（基礎） 12 関係会社概念③（基礎） 13 売上原価の算定①（基礎） 14 売上原価の算定②（基礎） 15 売上原価の算定③（基礎） 16 貸倒れ①（基礎） 17 貸倒れ②（基礎） 18 貸倒れ③（基礎） 19 給料等①（基礎） 20 給料等②（基礎） 21 給料等③（基礎） 22 その他の引当金①（基礎） 23 その他の引当金②（基礎） 24 その他の引当金③（基礎） 25 退職給付会計①（基礎） 26 退職給付会計②（基礎） 27 退職給付会計③（基礎） 28 有形固定資産①（基礎） 29 有形固定資産②（基礎） 30 有形固定資産③（基礎）	31 無形固定資産①（基礎） 32 無形固定資産②（基礎） 33 無形固定資産③（基礎） 34 株主資本①（基礎） 35 株主資本②（基礎） 36 株主資本③（基礎） 37 財務諸表論の基礎概念①（基礎） 38 財務諸表論の基礎概念②（基礎） 39 財務諸表論の基礎概念③（基礎） 40 問題演習①（初級） 41 問題演習①（初級） 42 問題演習②（初級） 43 問題演習②（初級） 44 問題演習③（初級） 45 問題演習③（初級） 46 問題演習④（初級） 47 問題演習④（初級） 48 問題演習⑤（初級） 49 問題演習⑤（初級） 50 問題演習⑥（初級） 51 問題演習⑥（初級） 52 問題演習⑦（初級） 53 問題演習⑦（初級） 54 問題演習⑧（初級） 55 問題演習⑧（初級） 56 問題演習⑨（初級） 57 問題演習⑨（初級） 58 問題演習⑩（初級） 59 問題演習⑩（初級） 60 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	67	
授業科目	消費税法入門Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（初級編）
	3	課税の対象②（初級編）
	4	課税の対象③（初級編）
	5	課税の対象④（初級編）
	6	非課税①（初級編）
	7	非課税②（初級編）
	8	非課税③（初級編）
	9	非課税④（初級編）
	10	輸出免税等①（初級編）
	11	輸出免税等②（初級編）
	12	輸出免税等③（初級編）
	13	輸出免税等④（初級編）
	14	資産の譲渡等の時期（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	68	
授業科目	相続税法入門Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要（基礎）
	3	相続税法と民法（基礎）
	4	相続人、代襲相続（基礎）
	5	養子の子の取扱い（基礎）
	6	相続の承認と放棄（基礎）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎）
	8	遺言による財産の取得（基礎）
	9	相続税の納税義務者（基礎）
	10	生命保険金等（基礎）
	11	相続税の非課税財産（基礎）
	12	相続税額の計算方法（基礎）
	13	生命保険金等の非課税金額（基礎）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	69	
授業科目	法人税法入門Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（中級）
	2	納税義務者（中級）
	3	課税所得の範囲（中級）
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ（中級）
	5	減価償却Ⅰ（中級）
	6	減価償却Ⅱ（中級）
	7	減価償却Ⅲ（中級）
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級）
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ（中級）
	10	租税公課等（中級）
	11	納税充当金Ⅰ（中級）
	12	納税充当金Ⅱ（中級）
	13	別表四の作成（中級）
	14	事業年度（中級）
	15	確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	70	
授業科目	所得税法入門 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	所得税法の概要及び各種所得の意義及び金額（一部）の解説	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	所得税法の概要及び各種所得の意義及び金額の計算を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	所得税法の概要
	2	各種所得の意義及び金額の計算
	3	課税標準の計算
	4	課税所得金額の計算
	5	納付税額の計算
	6	源泉徴収制度、復興特別所得税
	7	青色申告制度
	8	利子所得
	9	配当所得
	10	不動産所得
	11	給与所得
	12	特定支出控除の特例
	13	退職所得
	14	山林所得
	15	確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	71	
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（初級編）
	3	課税の対象②（初級編）
	4	非課税①（初級編）
	5	非課税②（初級編）
	6	輸出免税等①（初級編）
	7	輸出免税等②（初級編）
	8	資産の譲渡等の時期（初級編）
	9	控除対象仕入税額①（初級編）
	10	控除対象仕入税額②（初級編）
	11	売上げに係る対価の返還等（初級編）
	12	貸倒れが生じた場合（初級編）
	13	課税仕入れの範囲①（初級編）
	14	課税仕入れの範囲②（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	72
授業科目	簿記論基礎Ⅲ
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 税効果会計Ⅰ①（基礎編） 2 税効果会計Ⅰ②（基礎編） 3 現在価値計算Ⅰ（基礎編） 4 保険金Ⅰ（基礎編） 5 新株予約権付社債Ⅰ（基礎編） 6 減損会計Ⅰ（基礎編） 7 資産除去債務Ⅰ（基礎編） 8 外貨建会計Ⅰ（基礎編） 9 リース会計Ⅰ①（基礎編） 10 リース会計Ⅰ②（基礎編） 11 試用販売Ⅰ（基礎編） 12 割賦販売Ⅰ（基礎編） 13 未着品販売Ⅰ（基礎編） 14 委託販売・受託販売Ⅰ（基礎編） 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	73
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15回
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 売買目的有価証券（基礎）</li> <li>2 満期保有目的の債券（基礎）</li> <li>3 子会社株式・関連会社株式（基礎）</li> <li>4 その他有価証券（基礎）</li> <li>5 ソフトウェア（基礎）</li> <li>6 法人税等・追徴還付（基礎）</li> <li>7 現在価値計算（基礎）</li> <li>8 社債（基礎）</li> <li>9 利益剰余金（基礎）</li> <li>10 自己株式（基礎）</li> <li>11 配当（基礎）</li> <li>12 外形基準、租税公課（基礎）</li> <li>13 源泉所得税、社会保険料（基礎）</li> <li>14 税効果会計（基礎）</li> <li>15 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論) 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	74	
授業科目	消費税法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 控除対象仕入税額①（初級編） 2 控除対象仕入税額②（初級編） 3 控除対象仕入税額③（初級編） 4 控除対象仕入税額④（初級編） 5 控除対象仕入税額⑤（初級編） 6 控除対象仕入税額⑥（初級編） 7 売上げに係る対価の返還等①（初級編） 8 売上げに係る対価の返還等②（初級編） 9 貸倒れが生じた場合①（初級編） 10 貸倒れが生じた場合②（初級編） 11 課税仕入れの範囲①（初級編） 12 課税仕入れの範囲②（初級編） 13 課税仕入れの範囲③（初級編） 14 課税仕入れの範囲④（初級編） 15 課税仕入れ等の時期①（初級編） 16 課税仕入れ等の時期②（初級編） 17 課税仕入れ等の時期③（初級編） 18 課税仕入れ等の時期④（初級編） 19 課税売上割合①（初級編） 20 課税売上割合②（初級編） 21 課税売上割合③（初級編） 22 課税売上割合④（初級編） 23 課税売上割合⑤（初級編） 24 課税売上割合⑥（初級編） 25 課税期間における課税売上高①（初級編） 26 課税期間における課税売上高②（初級編） 27 課税売上割合に準ずる割合①（初級編） 28 課税売上割合に準ずる割合②（初級編） 29 仕入れに係る対価の返還等①（初級編） 30 仕入れに係る対価の返還等②（初級編）	31 納税義務の免除①（初級編） 32 納税義務の免除②（初級編） 33 納税義務の免除③（初級編） 34 納税義務の免除④（初級編） 35 納税義務の免除⑤（初級編） 36 国境を越えた役務の提供①（初級編） 37 国境を越えた役務の提供②（初級編） 38 国境を越えた役務の提供③（初級編） 39 国境を越えた役務の提供④（初級編） 40 国境を越えた役務の提供⑤（初級編） 41 中間申告に係る納付税額の計算①（初級編） 42 中間申告に係る納付税額の計算②（初級編） 43 課税仕入れ等の分類①（初級編） 44 課税仕入れ等の分類②（初級編） 45 課税仕入れ等の分類③（初級編） 46 課税仕入れ等の分類④（初級編） 47 課税仕入れ等の分類⑤（初級編） 48 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（初級編） 49 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（初級編） 50 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（初級編） 51 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） 52 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） 53 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編） 54 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編） 55 納税義務の免除の特例①（初級編） 56 納税義務の免除の特例②（初級編） 57 納税義務の免除の特例③（初級編） 58 納税義務の免除の特例④（初級編） 59 納税義務の免除の特例⑤（初級編） 60 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論) 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	75	
授業科目	相続税法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎） 2 弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎） 3 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎） 4 相続時精算課税適用財産（基礎）、生前贈与加算相続税の総額（基礎） 5 算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎） 6 贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎） 7 未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎） 8 確認テスト①(理論) 9 特定納税義務者（基礎） 10 特定納税義務者の債務控除（基礎）、特定納税義務者の障害者控除（基礎） 11 贈与税額控除（精算）（基礎） 12 自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎） 13 自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎） 14 特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎） 15 被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎） 16 法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎） 17 自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎） 18 地区区分の異なる宅地（基礎） 19 側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎） 20 普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）、貸家建付地（基礎） 21 貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎） 22 一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎） 23 書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎） 24 上場株式（基礎）、構築物（基礎） 25 貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎） 26 間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎） 27 確認テスト②(理論) 28 使用貸借により借り受けた宅地等（基礎） 29 使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎） 30 使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	31 小規模宅地等の減額①（基礎） 32 小規模宅地等の減額②（基礎） 33 小規模宅地等の減額③（基礎） 34 小規模宅地等の減額④（基礎） 35 小規模宅地等の減額⑤（基礎） 36 小規模宅地等の減額⑥（基礎） 37 確認テスト③(理論) 38 取引相場のない株式①（基礎） 39 取引相場のない株式②（基礎） 40 取引相場のない株式③（基礎） 41 取引相場のない株式④（基礎） 42 取引相場のない株式⑤（基礎） 43 取引相場のない株式⑥（基礎） 44 取引相場のない株式⑦（基礎） 45 取引相場のない株式⑧（基礎） 46 取引相場のない株式⑨（基礎） 47 取引相場のない株式⑩（基礎） 48 取引相場のない株式⑪（基礎） 49 取引相場のない株式⑫（基礎） 50 取引相場のない株式⑬（基礎） 51 利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎） 52 相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎） 53 相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎） 54 土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎） 55 利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎） 56 不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎） 57 がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎） 58 容積率の異なる宅地（基礎） 59 都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎） 60 確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 4回分の平均点100%	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	76	
授業科目	法人税法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 貸倒損失Ⅰ（基礎） 2 貸倒損失Ⅱ（基礎） 3 貸倒引当金Ⅰ（基礎） 4 貸倒引当金Ⅱ（基礎） 5 欠損金Ⅰ（基礎） 6 欠損金Ⅱ（基礎） 7 外貨建取引Ⅰ（基礎） 8 外貨建取引Ⅱ（基礎） 9 有価証券Ⅰ（基礎） 10 有価証券Ⅱ（基礎） 11 収用等Ⅰ（基礎） 12 収用等Ⅱ（基礎） 13 所得税額控除Ⅰ（基礎） 14 所得税額控除Ⅱ（基礎） 15 国庫補助金等Ⅰ（基礎） 16 国庫補助金等Ⅱ（基礎） 17 別表五(一)の作成Ⅰ（基礎） 18 別表五(一)の作成Ⅱ（基礎） 19 圧縮記帳Ⅰ（基礎） 20 圧縮記帳Ⅱ（基礎） 21 役員判定Ⅰ（基礎） 22 役員判定Ⅱ（基礎） 23 役員給与Ⅰ（基礎） 24 役員給与Ⅱ（基礎） 25 使用人給与Ⅰ（基礎） 26 使用人給与Ⅱ（基礎） 27 特定資産の買換えⅠ（基礎） 28 特定資産の買換えⅡ（基礎） 29 外国税額控除Ⅰ（基礎） 30 外国税額控除Ⅱ（基礎）	31 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎） 32 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎） 33 みなし配当金Ⅰ（基礎） 34 みなし配当金Ⅱ（基礎） 35 資本等取引Ⅰ（基礎） 36 資本等取引Ⅱ（基礎） 37 交換差益Ⅰ（基礎） 38 交換差益Ⅱ（基礎） 39 交換差益Ⅲ（基礎） 40 別表五(二)Ⅰ（基礎） 41 別表五(二)Ⅱ（基礎） 42 別表五(二)Ⅲ（基礎） 43 別表五(二)Ⅳ（基礎） 44 リース取引Ⅰ（基礎） 45 リース取引Ⅱ（基礎） 46 リース取引Ⅲ（基礎） 47 リース取引Ⅳ（基礎） 48 繰延資産Ⅰ（基礎） 49 繰延資産Ⅱ（基礎） 50 繰延資産Ⅲ（基礎） 51 繰延資産Ⅳ（基礎） 52 確定決算型Ⅰ（基礎） 53 確定決算型Ⅱ（基礎） 54 確定決算型Ⅲ（基礎） 55 確定決算型Ⅳ（基礎） 56 グループ法人税制Ⅰ（基礎） 57 グループ法人税制Ⅱ（基礎） 58 資産の評価損益（基礎） 59 保険料（基礎） 60 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	77	
授業科目	所得税法基礎 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）	
授業コマ数	6 0 回	
授業概要	事業所得を中心とした各種所得の意義及び金額（一部）の解説	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各種所得の意義及び金額の計算、所得控除を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 雑所得 2 公的年金等 3 生命保険契約等に基づく年金 4 源泉徴収の対象となる雑所得 5 退職所得 I 6 退職所得 II 7 減価償却④（定率法から定額法への切替え） 8 事業所得 9 損益通算 I 10 損益通算 II 11 棚卸資産等の自家消費・贈与等 12 少額減価償却資産等 13 受贈益の取扱い 14 売上原価 I 15 売上原価 II 16 売上原価 III 17 必要経費① I 18 必要経費① II 19 資産損失（全部損壊の場合） 20 貸倒損失 21 取得した保険金・損害賠償金等② 22 貸倒引当金 I 23 貸倒引当金 II 24 貸倒引当金 III 25 必要経費② 26 事業を営む居住者の取扱い 27 給与所得 I 28 給与所得 II 29 特定支出の控除の特例 30 不動産所得に係る損益通算の特例 I	31 不動産所得に係る損益通算の特例 II 32 住宅借入金等を有する場合の特別控除 I 33 住宅借入金等を有する場合の特別控除 II 34 住宅借入金等（認定住宅借入金等） I 35 住宅借入金等（認定住宅借入金等） II 36 純損失の繰越控除 I 37 純損失の繰越控除 II 38 所得控除の概要 I 39 所得控除の概要 II 40 雑損控除 41 雑損失の繰越控除 42 基礎控除 43 医療費控除 I 44 医療費控除 II 45 社会保険料控除 46 小規模企業共済等掛金控除 47 生命保険料控除 I 48 生命保険料控除 II 49 地震保険料控除 I 50 地震保険料控除 II 51 寄附金控除 I 52 寄附金控除 II 53 障害者控除 I 54 障害者控除 II 55 寡婦控除・ひとり親控除 I 56 寡婦控除・ひとり親控除 II 57 勤労学生控除 I 58 配偶者控除 59 配偶者特別控除 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	78	
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ	
実務家教員授業	— —	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 課税仕入れ等の時期①（初級編） 2 課税仕入れ等の時期②（初級編） 3 課税仕入れ等の時期③（初級編） 4 課税仕入れ等の時期④（初級編） 5 課税仕入れ等の時期⑤（初級編） 6 課税売上割合①（初級編） 7 課税売上割合②（初級編） 8 課税売上割合③（初級編） 9 課税売上割合④（初級編） 10 課税売上割合⑤（初級編） 11 課税期間における課税売上高①（初級編） 12 課税期間における課税売上高②（初級編） 13 課税期間における課税売上高③（初級編） 14 課税期間における課税売上高④（初級編） 15 課税期間における課税売上高⑤（初級編） 16 課税売上割合に準ずる割合①（初級編） 17 課税売上割合に準ずる割合②（初級編） 18 課税売上割合に準ずる割合③（初級編） 19 課税売上割合に準ずる割合④（初級編） 20 課税売上割合に準ずる割合⑤（初級編） 21 仕入れに係る対価の返還等①（初級編） 22 仕入れに係る対価の返還等②（初級編） 23 仕入れに係る対価の返還等③（初級編） 24 仕入れに係る対価の返還等④（初級編） 25 仕入れに係る対価の返還等⑤（初級編） 26 納税義務の免除①（初級編） 27 納税義務の免除②（初級編） 28 納税義務の免除③（初級編） 29 納税義務の免除④（初級編） 30 納税義務の免除⑤（初級編）	31 国境を越えた役務の提供①（初級編） 32 国境を越えた役務の提供②（初級編） 33 国境を越えた役務の提供③（初級編） 34 国境を越えた役務の提供④（初級編） 35 国境を越えた役務の提供⑤（初級編） 36 国境を越えた役務の提供⑥（初級編） 37 中間申告に係る納付税額の計算①（初級編） 38 中間申告に係る納付税額の計算②（初級編） 39 中間申告に係る納付税額の計算③（初級編） 40 問題演習①（初級編） 41 問題演習①（初級編） 42 問題演習②（初級編） 43 問題演習②（初級編） 44 問題演習③（初級編） 45 問題演習③（初級編） 46 問題演習④（初級編） 47 問題演習④（初級編） 48 問題演習⑤（初級編） 49 問題演習⑤（初級編） 50 問題演習⑥（初級編） 51 問題演習⑥（初級編） 52 問題演習⑦（初級編） 53 問題演習⑦（初級編） 54 問題演習⑧（初級編） 55 問題演習⑧（初級編） 56 問題演習⑨（初級編） 57 問題演習⑨（初級編） 58 問題演習⑩（初級編） 59 問題演習⑩（初級編） 60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	79	
授業科目	簿記論基礎Ⅳ	
実務家教員授業	— —	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 固定資産Ⅰ①（基礎編） 2 固定資産Ⅰ②（基礎編） 3 固定資産Ⅰ③（基礎編） 4 固定資産Ⅰ④（基礎編） 5 固定資産Ⅰ⑤（基礎編） 6 ソフトウェアⅠ①（基礎編） 7 ソフトウェアⅠ②（基礎編） 8 ソフトウェアⅠ③（基礎編） 9 債権債務Ⅰ①（基礎編） 10 債権債務Ⅰ②（基礎編） 11 債権債務Ⅰ③（基礎編） 12 貸倒れⅠ①（基礎編） 13 貸倒れⅠ②（基礎編） 14 貸倒れⅠ③（基礎編） 15 退職給付会計Ⅰ①（基礎編） 16 退職給付会計Ⅰ②（基礎編） 17 退職給付会計Ⅰ③（基礎編） 18 退職給付会計Ⅰ④（基礎編） 19 退職給付会計Ⅰ⑤（基礎編） 20 税金Ⅰ①（基礎編） 21 税金Ⅰ②（基礎編） 22 税金Ⅰ③（基礎編） 23 税金Ⅰ④（基礎編） 24 税金Ⅰ⑤（基礎編） 25 社債Ⅰ①（基礎編） 26 社債Ⅰ②（基礎編） 27 社債Ⅰ③（基礎編） 28 社債Ⅰ④（基礎編） 29 社債Ⅰ⑤（基礎編） 30 純資産会計Ⅰ①（基礎編）	31 純資産会計Ⅰ②（基礎編） 32 純資産会計Ⅰ③（基礎編） 33 純資産会計Ⅰ④（基礎編） 34 純資産会計Ⅰ⑤（基礎編） 35 有価証券Ⅰ①（基礎編） 36 有価証券Ⅰ②（基礎編） 37 有価証券Ⅰ③（基礎編） 38 有価証券Ⅰ④（基礎編） 39 有価証券Ⅰ⑤（基礎編） 40 問題演習①（基礎編） 41 問題演習①（基礎編） 42 問題演習②（基礎編） 43 問題演習②（基礎編） 44 問題演習③（基礎編） 45 問題演習③（基礎編） 46 問題演習④（基礎編） 47 問題演習④（基礎編） 48 問題演習⑤（基礎編） 49 問題演習⑤（基礎編） 50 問題演習⑥（基礎編） 51 問題演習⑥（基礎編） 52 問題演習⑦（基礎編） 53 問題演習⑦（基礎編） 54 問題演習⑧（基礎編） 55 問題演習⑧（基礎編） 56 問題演習⑨（基礎編） 57 問題演習⑨（基礎編） 58 問題演習⑩（基礎編） 59 問題演習⑩（基礎編） 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	80	
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（基礎）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（基礎）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（基礎）
	4	分配可能額①（基礎）
	5	分配可能額②（基礎）
	6	分配可能額③（基礎）
	7	ストック・オプション①（基礎）
	8	ストック・オプション②（基礎）
	9	セール&リースバック①（基礎）
	10	セール&リースバック②（基礎）
	11	財務諸表等規則①（基礎）
	12	財務諸表等規則②（基礎）
	13	負債①（基礎）
	14	負債②（基礎）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	81	
授業科目	消費税法基礎Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編）
	2	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）
	3	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）
	4	課税標準①（初級編）
	5	課税標準②（初級編）
	6	課税標準③（初級編）
	7	課税標準④（初級編）
	8	簡易課税制度①（初級編）
	9	簡易課税制度②（初級編）
	10	簡易課税制度③（初級編）
	11	簡易課税制度④（初級編）
	12	簡易課税制度⑤（初級編）
	13	簡易課税制度⑥（初級編）
	14	簡易課税制度⑦（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	82
授業科目	相続税法基礎Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 私道の用に供されている宅地①（基礎）</li> <li>2 私道の用に供されている宅地②（基礎）</li> <li>3 セットバックを必要とする宅地（基礎）</li> <li>4 上場株式（権利落）（基礎）</li> <li>5 株式の割り当てを受ける権利（基礎）</li> <li>6 宅地等の評価単位（基礎）</li> <li>7 契約者貸付金等がある場合の保険金（基礎）</li> <li>8 純農地、中間農地、純山林、中間山林①（基礎）</li> <li>9 純農地、中間農地、純山林、中間山林②（基礎）</li> <li>10 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林①（基礎）</li> <li>11 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林②（基礎）</li> <li>12 立木、立木の評価減（基礎）</li> <li>13 配当期待権（基礎）</li> <li>14 贈与税が課税される場合（基礎）</li> <li>15 相続税が課税される場合（基礎）</li> <li>16 負担付遺贈・贈与（基礎）</li> <li>17 贈与税の非課税財産（基礎）</li> <li>18 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税①（基礎）</li> <li>19 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税②（基礎）</li> <li>20 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例①（基礎）</li> <li>21 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例②（基礎）</li> <li>22 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税①（基礎）</li> <li>23 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税②（基礎）</li> <li>24 証券投資信託受益証券（基礎）</li> <li>25 ゴルフ会員権（基礎）</li> <li>26 不動産投資信託証券（基礎）</li> <li>27 措法70の非課税（基礎）</li> <li>28 権利義務の承継（基礎）</li> <li>29 贈与税の配偶者控除（基礎）</li> <li>30 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	83
授業科目	法人税法基礎Ⅲ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30 時間（1 単位）
授業コマ数	15 回
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 設立事業年度（応用）</li> <li>2 組織再編税制（応用）</li> <li>3 工事の請負（応用）</li> <li>4 修正申告（応用）</li> <li>5 税効果会計（応用）</li> <li>6 賃上げ・投資促進税制（応用）</li> <li>7 スピンオフ税制（応用）</li> <li>8 特定同族会社の特別税率（応用）</li> <li>9 適用除外事業者（応用）</li> <li>10 地方法人税（応用）</li> <li>11 外国子会社配当（応用）</li> <li>12 借地権等（応用）</li> <li>13 償還差損益（応用）</li> <li>14 未収還付税金（応用）</li> <li>15 確認テスト（理論）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	84	
授業科目	所得税法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	所得控除及び譲渡所得の金額の計算の解説	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各種所得の意義及び金額の計算を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	扶養控除Ⅰ
	2	扶養控除Ⅱ
	3	扶養親族等の判定時期
	4	課税標準の合計額と合計所得金額
	5	譲渡所得Ⅰ
	6	取得費Ⅰ
	7	取得費Ⅱ
	8	みなし譲渡①
	9	山林所得Ⅰ
	10	山林所得Ⅱ
	11	みなし譲渡②
	12	生活に通常必要でない資産の損失の金額
	13	居住用財産の譲渡Ⅰ
	14	居住用財産の譲渡Ⅱ
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	85	
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の分類①（初級編）
	2	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（初級編）
	3	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整（初級編）
	4	納税義務の免除の特例①（初級編）
	5	納税義務の免除の特例②（初級編）
	6	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編）
	7	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目（初級編）
	8	課税標準（初級編）
	9	簡易課税制度（初級編）
	10	軽減税率（初級編）
	11	旧税率に関する経過措置（初級編）
	12	複数税率の場合の計算（初級編）
	13	国等に対する特例（初級編）
	14	特殊項目（税抜経理方式）（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	86	
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国税徴収法の目的（基礎）</li> <li>2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（基礎）</li> <li>3 強制換価手続（基礎）</li> <li>4 担保の種類（基礎）</li> <li>5 滞納処分の概要（基礎）</li> <li>6 国税に優先する権利（基礎）</li> <li>7 国税相互間の優先関係（基礎）</li> <li>8 財産の調査（基礎）</li> <li>9 最優先される被担保債権（基礎）</li> <li>10 法定納期限等（期限内申告に係る国税）（基礎）</li> <li>11 法定納期限等以前の抵当権及び質権（基礎）</li> <li>12 不動産賃貸の先取特権等（基礎）</li> <li>13 法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（基礎）</li> <li>14 譲受前にある担保権（基礎）</li> <li>15 確認テスト（基礎）</li> </ol>	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	87
授業科目	短答式対策入門総合Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）① 2 財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）① 3 管理会計 択一式総合問題（初級編）① 4 企業法 択一式総合問題（初級編）① 5 監査論 択一式総合問題（初級編）① 6 財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）② 7 財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）② 8 管理会計 択一式総合問題（初級編）② 9 企業法 択一式総合問題（初級編）② 10 監査論 択一式総合問題（初級編）② 11 財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）③ 12 財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）③ 13 管理会計 択一式総合問題（初級編）③ 14 企業法 択一式総合問題（初級編）③ 15 監査論 択一式総合問題（初級編）③ 16 財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）④ 17 財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）④ 18 管理会計 択一式総合問題（初級編）④ 19 企業法 択一式総合問題（初級編）④ 20 監査論 択一式総合問題（初級編）④ 21 財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）⑤ 22 財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）⑤ 23 管理会計 択一式総合問題（初級編）⑤ 24 企業法 択一式総合問題（初級編）⑤ 25 監査論 択一式総合問題（初級編）⑤ 26 財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）⑥ 27 財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）⑥ 28 管理会計 択一式総合問題（初級編）⑥ 29 企業法 択一式総合問題（初級編）⑥ 30 監査論 択一式総合問題（初級編）⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	88	
授業科目	管理会計論応用演習 I	
実務家教員授業	— —	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60回	
授業概要	応用力を身に着けるために、計算問題と記述式問題を織り交ぜた問題を解く	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）① 3 記述式応用問題（初級編）② 4 記述式応用問題（初級編）② 5 記述式応用問題（初級編）③ 6 記述式応用問題（初級編）③ 7 記述式応用問題（初級編）④ 8 記述式応用問題（初級編）④ 9 記述式応用問題（初級編）⑤ 10 記述式応用問題（初級編）⑤ 11 記述式応用問題（初級編）⑥ 12 記述式応用問題（初級編）⑥ 13 記述式応用問題（初級編）⑦ 14 記述式応用問題（初級編）⑦ 15 記述式応用問題（初級編）⑧ 16 記述式応用問題（初級編）⑧ 17 記述式応用問題（初級編）⑨ 18 記述式応用問題（初級編）⑨ 19 記述式応用問題（初級編）⑩ 20 記述式応用問題（初級編）⑩ 21 記述式応用問題（初級編）⑪ 22 記述式応用問題（初級編）⑪ 23 記述式応用問題（初級編）⑫ 24 記述式応用問題（初級編）⑫ 25 記述式応用問題（初級編）⑬ 26 記述式応用問題（初級編）⑬ 27 記述式応用問題（初級編）⑭ 28 記述式応用問題（初級編）⑭ 29 記述式応用問題（初級編）⑮ 30 記述式応用問題（初級編）⑮	31 記述式応用問題（初級編）⑯ 32 記述式応用問題（初級編）⑯ 33 記述式応用問題（初級編）⑰ 34 記述式応用問題（初級編）⑰ 35 記述式応用問題（初級編）⑱ 36 記述式応用問題（初級編）⑱ 37 記述式応用問題（初級編）⑲ 38 記述式応用問題（初級編）⑲ 39 記述式応用問題（初級編）⑳ 40 記述式応用問題（初級編）㉑ 41 記述式応用問題（初級編）㉑ 42 記述式応用問題（初級編）㉒ 43 記述式応用問題（初級編）㉒ 44 記述式応用問題（初級編）㉓ 45 記述式応用問題（初級編）㉓ 46 記述式応用問題（初級編）㉔ 47 記述式応用問題（初級編）㉔ 48 記述式応用問題（初級編）㉕ 49 記述式応用問題（初級編）㉕ 50 記述式応用問題（初級編）㉖ 51 記述式応用問題（初級編）㉖ 52 記述式応用問題（初級編）㉗ 53 記述式応用問題（初級編）㉗ 54 記述式応用問題（初級編）㉘ 55 記述式応用問題（初級編）㉘ 56 記述式応用問題（初級編）㉙ 57 記述式応用問題（初級編）㉙ 58 記述式応用問題（初級編）㉚ 59 記述式応用問題（初級編）㉚ 60 記述式応用問題（初級編）㉛
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	89	
授業科目	財務会計論応用演習 I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	90	
授業科目	企業法応用演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	91	
授業科目	監査論応用演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60 時間（2 単位）	
授業コマ数	30 回	
授業概要	解答の記述構成など監査制度に関する記述レベルを引き上げを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
	16	記述式応用問題（初級編）⑯
	17	記述式応用問題（初級編）⑰
	18	記述式応用問題（初級編）⑱
	19	記述式応用問題（初級編）⑲
	20	記述式応用問題（初級編）⑳
	21	記述式応用問題（初級編）㉑
	22	記述式応用問題（初級編）㉒
	23	記述式応用問題（初級編）㉓
	24	記述式応用問題（初級編）㉔
	25	記述式応用問題（初級編）㉕
	26	記述式応用問題（初級編）㉖
	27	記述式応用問題（初級編）㉗
	28	記述式応用問題（初級編）㉘
	29	記述式応用問題（初級編）㉙
	30	記述式応用問題（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	92	
授業科目	経営学応用演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	ファイナンス分野の知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	93	
授業科目	租税法応用演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	論理的な思考を用い法人税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	94	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅴ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	リース会計及びその他の資産並びに社債の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	リース取引総論
	2	オペレーティング・リース
	3	所有権移転ファイナンス・リース
	4	所有権移転外ファイナンス・リース
	5	維持管理費相当額
	6	リース料の前払い
	7	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理）
	8	セール・アンド・リースバック取引
	9	転リース取引
	10	無形固定資産総論
	11	のれん、研究開発費、繰延資産
	12	市場販売目的のソフトウェア、自社利用目的のソフトウェア、投資その他の資産
	13	固定資産の減損総論、減損損失の判定と測定、将来キャッシュ・フローの見積
	14	社債総論、買入償還
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	95	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	通常の販売目的で保有する棚卸資産
	2	トレーディング目的で保有する棚卸資産
	3	売価還元法と最終仕入原価法
	4	固定資産の取得原価の決定
	5	資本的支出と収益的支出
	6	減価償却
	7	個別償却と総合償却
	8	減耗償却と取替法
	9	圧縮記帳
	10	株式交付費
	11	社債発行費等
	12	創立費
	13	開業費
	14	開発費
	15	支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	96	
授業科目	管理会計論入門Ⅳ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	標準原価計算総論
	2	標準原価計算の目的
	3	標準原価の種類
	4	標準原価計算制度の手続
	5	製品原価の計算
	6	原価差異の計算
	7	原価差異の原因分析
	8	原価差異の把握方法
	9	標準原価計算の記帳方法
	10	原価差異の会計処理
	11	仕損・減損が生じる場合（終点発生）
	12	仕損・減損が生じる場合（始点発生）
	13	仕損・減損が生じる場合（途中一定点発生）
	14	管理会計の意義
	15	財務会計と管理会計の相違
	16	管理会計の体系
	17	財務情報分析
	18	財務情報分析の意義
	19	財務情報分析の種類
	20	収益性分析
	21	投下資本利益率
	22	投下資本利益率の分解
	23	安全性分析
	24	短期財務安全性分析
	25	長期財務安全性分析
	26	キャッシュフロー分析
	27	授業内演習①
	28	授業内演習②
	29	授業内演習③
	30	授業内演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	97	
授業科目	企業法入門Ⅳ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算書類その他
	2	資本金・準備金・剰余金
	3	剰余金の配当
	4	定款変更の意義
	5	定款変更の手続
	6	発行可能株式総数
	7	事業譲渡等
	8	組織再編 総説
	9	組織変更
	10	合併 総説
	11	会社分割 総説
	12	株式交換・株式移転 総説
	13	持分法会社の組織再編
	14	会社の清算
	15	持分会社
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	98
授業科目	監査論入門Ⅳ
実務家教員授業	— —
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 継続企業の前提とは①</li> <li>2 継続企業の前提とは②</li> <li>3 継続企業の前提に関する経営者の対応①</li> <li>4 継続企業の前提に関する経営者の対応②</li> <li>5 継続企業の前提に対する監査人の対応①</li> <li>6 継続企業の前提に対する監査人の対応②</li> <li>7 中間監査総論①</li> <li>8 中間監査総論②</li> <li>9 四半期レビュー制度①</li> <li>10 四半期レビュー制度②</li> <li>11 特別目的会社の財務諸表の監査①</li> <li>12 特別目的会社の財務諸表の監査②</li> <li>13 内部統制報告制度概要①</li> <li>14 内部統制報告制度概要②</li> <li>15 会計監査人監査制度概要①</li> <li>16 会計監査人監査制度概要②</li> <li>17 金融商品取引法による企業内容開示制度①</li> <li>18 金融商品取引法による企業内容開示制度②</li> <li>19 公認会計士法①</li> <li>20 公認会計士法②</li> <li>21 公認会計士制度の創設・発足①</li> <li>22 公認会計士制度の創設・発足②</li> <li>23 倫理規則の趣旨及び精神①</li> <li>24 倫理規則の趣旨及び精神②</li> <li>25 保証業務概論①</li> <li>26 保証業務概論②</li> <li>27 保証業務の位置付け①</li> <li>28 保証業務の位置付け②</li> <li>29 公認会計士制度の創設・発足①</li> <li>30 公認会計士制度の創設・発足②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	99	
授業科目	財務会計論簿記計算特訓 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	退職給付会計及び資産除去債務に関する基礎的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	退職給付会計及び資産除去債務の基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	確定給付企業年金制度（一連の会計処理）
	2	確定給付企業年金制度（従業員拠出）
	3	確定給付企業年金制度（数理計算上の差異）
	4	確定給付企業年金制度（過去勤務費用）
	5	確定給付企業年金制度（年金資産の返還）
	6	確定給付企業年金制度（退職給付信託）
	7	確定拠出企業年金制度
	8	退職給付制度の終了
	9	資産除去債務総論
	10	見積りの変更（見積額が増加する場合）
	11	見積りの変更（見積額が増加する場合）
	12	資産除去債務の算定（最頻値法・期待値法）
	13	資産除去債務が複数の資産から構成される場合
	14	巻末総合問題演習①
	15	巻末総合問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容																															
科目番号	100																															
授業科目	管理会計論計算特訓 I																															
実務家教員授業	—	—																														
	—	—																														
学部・学科	経理本科 1 年制学科																															
履修年次	1 年次																															
開講学期	前期																															
科目区分	選択																															
授業方法	講義及び演習																															
授業時間	30 時間（1 単位）																															
授業コマ数	15 回																															
授業概要	入門講義で学習した知識を基に、計算力の向上を図る																															
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																															
達成目標	入門講義で学習した知識を基に、正確に計算し、解答を導き出すことができる																															
教科書	オリジナルテキスト																															
特記																																
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>材料費会計</td></tr> <tr><td>2</td><td>労務費会計</td></tr> <tr><td>3</td><td>経費会計</td></tr> <tr><td>4</td><td>製造間接費会計</td></tr> <tr><td>5</td><td>部門別計算</td></tr> <tr><td>6</td><td>個別原価計算</td></tr> <tr><td>7</td><td>部門別個別原価計算</td></tr> <tr><td>8</td><td>総合原価計算①</td></tr> <tr><td>9</td><td>総合原価計算②</td></tr> <tr><td>10</td><td>総合原価計算③</td></tr> <tr><td>11</td><td>総合原価計算④</td></tr> <tr><td>12</td><td>標準原価計算①</td></tr> <tr><td>13</td><td>標準原価計算②</td></tr> <tr><td>14</td><td>標準原価計算③</td></tr> <tr><td>15</td><td>授業内演習及び確認テスト</td></tr> </table>	1	材料費会計	2	労務費会計	3	経費会計	4	製造間接費会計	5	部門別計算	6	個別原価計算	7	部門別個別原価計算	8	総合原価計算①	9	総合原価計算②	10	総合原価計算③	11	総合原価計算④	12	標準原価計算①	13	標準原価計算②	14	標準原価計算③	15	授業内演習及び確認テスト	
1	材料費会計																															
2	労務費会計																															
3	経費会計																															
4	製造間接費会計																															
5	部門別計算																															
6	個別原価計算																															
7	部門別個別原価計算																															
8	総合原価計算①																															
9	総合原価計算②																															
10	総合原価計算③																															
11	総合原価計算④																															
12	標準原価計算①																															
13	標準原価計算②																															
14	標準原価計算③																															
15	授業内演習及び確認テスト																															
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																															
備考																																

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	101	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算応用問題（初級編）①
	2	計算応用問題（初級編）②
	3	計算応用問題（初級編）③
	4	計算応用問題（初級編）④
	5	計算応用問題（初級編）⑤
	6	計算応用問題（初級編）⑥
	7	計算応用問題（初級編）⑦
	8	計算応用問題（初級編）⑧
	9	計算応用問題（初級編）⑨
	10	計算応用問題（初級編）⑩
	11	計算応用問題（初級編）⑪
	12	計算応用問題（初級編）⑫
	13	計算応用問題（初級編）⑬
	14	計算応用問題（初級編）⑭
	15	計算応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	102	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の構造を理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算応用問題（初級編）①
	2	計算応用問題（初級編）②
	3	計算応用問題（初級編）③
	4	計算応用問題（初級編）④
	5	計算応用問題（初級編）⑤
	6	計算応用問題（初級編）⑥
	7	計算応用問題（初級編）⑦
	8	計算応用問題（初級編）⑧
	9	計算応用問題（初級編）⑨
	10	計算応用問題（初級編）⑩
	11	計算応用問題（初級編）⑪
	12	計算応用問題（初級編）⑫
	13	計算応用問題（初級編）⑬
	14	計算応用問題（初級編）⑭
	15	計算応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	103	
授業科目	管理会計論直前演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	問題演習を通しながら、論理的な思考力と文章表現力を磨く	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	104	
授業科目	財務会計論直前演習 I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	105	
授業科目	企業法直前演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	106	
授業科目	監査論直前演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60 時間（2 単位）	
授業コマ数	30 回	
授業概要	監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
	16	記述式総合問題（初級編）⑯
	17	記述式総合問題（初級編）⑰
	18	記述式総合問題（初級編）⑱
	19	記述式総合問題（初級編）⑲
	20	記述式総合問題（初級編）⑳
	21	記述式総合問題（初級編）㉑
	22	記述式総合問題（初級編）㉒
	23	記述式総合問題（初級編）㉓
	24	記述式総合問題（初級編）㉔
	25	記述式総合問題（初級編）㉕
	26	記述式総合問題（初級編）㉖
	27	記述式総合問題（初級編）㉗
	28	記述式総合問題（初級編）㉘
	29	記述式総合問題（初級編）㉙
	30	記述式総合問題（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	107	
授業科目	経営学直前演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	ファイナンス分野の知識のアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	108	
授業科目	租税法直前演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	109	
授業科目	論文式対策総合 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	解答上の留意点
	2	財務会計（計算） 記述式模擬試験（初級編）①
	3	財務会計（理論） 記述式模擬試験（初級編）①
	4	管理会計 記述式模擬試験（初級編）①
	5	企業法 記述式模擬試験（初級編）①
	6	監査論 記述式模擬試験（初級編）①
	7	租税法 記述式模擬試験（初級編）①
	8	経営学 記述式模擬試験（初級編）①
	9	財務会計（計算） 記述式模擬試験（初級編）②
	10	財務会計（理論） 記述式模擬試験（初級編）②
	11	管理会計 記述式模擬試験（初級編）②
	12	企業法 記述式模擬試験（初級編）②
	13	監査論 記述式模擬試験（初級編）②
	14	租税法 記述式模擬試験（初級編）②
	15	経営学 記述式模擬試験（初級編）②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	110	
授業科目	財務会計論簿記基礎 I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識の習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	純資産会計総論
	2	株式の発行
	3	剰余金の配当、計数の変動、剰余金の処分
	4	自己株式、分配可能額の算定
	5	株主資本等変動計算書
	6	新株予約権総論
	7	新株予約権の会計処理、自己新株予約権、新株予約権の開示
	8	新株予約権付社債（総論）
	9	新株予約権付社債の会計処理
	10	ストック・オプション（総論）、権利不確定による失効
	11	対象勤務期間、段階的に権利行使が可能となる場合
	12	公正な評価単価の変動、ストック・オプション数の変動
	13	費用の計上期間を変動させる条件変更
	14	法人税、事業税
	15	消費税、その他税金
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	111	
授業科目	財務会計論財表基礎 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	負債会計及び純資産会計に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	製品保証引当金
	2	売上割戻引当金
	3	返品調整引当金
	4	修繕引当金
	5	資産除去債務の範囲
	6	資産除去債務の会計処理
	7	資産除去債務の開示
	8	株主資本の分類
	9	資本金
	10	資本剰余金
	11	利益剰余金
	12	自己株式
	13	資本金および準備金の額の減少
	14	資本剰余金と利益剰余金の混同の禁止
	15	剰余金の配当等
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	112
授業科目	管理会計論基礎 I
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60 時間（2 単位）
授業コマ数	30 回
授業概要	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解する
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 短期利益計画のための管理会計</li> <li>2 短期利益計画の基礎</li> <li>3 利益計画の意義</li> <li>4 中期経営計画と短期利益計画</li> <li>5 短期利益計画のプロセス</li> <li>6 CVP分析（Cost-Volume-Profit Analysis）</li> <li>7 CVP分析の意義</li> <li>8 原価・営業量・利益の関係</li> <li>9 CVP分析の仮定</li> <li>10 損益分岐点売上高（販売量）の算定</li> <li>11 希望（目標）営業利益を達成する売上高（販売量）の算定</li> <li>12 希望（目標）売上高営業利益率をあげる売上高</li> <li>13 損益分岐図表・限界利益図表</li> <li>14 安全（余裕）率・損益分岐点比率</li> <li>15 経営レバレッジ係数</li> <li>16 多品種製品を取り扱っている場合のCVP分析</li> <li>17 多品種製品を取り扱っている場合の限界利益図表の作成</li> <li>18 CVP感度分析</li> <li>19 営業外損益の取り扱い</li> <li>20 全部原価計算の損益分岐分析</li> <li>21 CVPC分析</li> <li>22 原価分解の必要性</li> <li>23 原価態様（コスト・ビヘイビア）に基づく原価分類</li> <li>24 原価分解の方法</li> <li>25 直接原価計算の基礎</li> <li>26 直接原価計算の意義</li> <li>27 直接原価計算の特徴</li> <li>28 直接原価計算の有用性</li> <li>29 全部原価計算との関係</li> <li>30 授業内演習及び確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	113	
授業科目	企業法基礎 I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、会社の設立や株式に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会社の概念、会社の種類
	2	株式会社の概念、会社設立
	3	発起人、定款の作成
	4	発起設立と募集設立、変態設立事項に関する規制
	5	設立登記、設立関与者の責任
	6	設立の瑕疵、株式の意義
	7	株式不可分の原則、株主の権利・義務の意義
	8	株主の権利に関する規定、株主平等原則の意義
	9	株主平等原則の趣旨・効果、株主平等原則の例外
	10	株式譲渡自由の原則、自己株式取得規制の概要
	11	子会社による親会社株式の取得、株券の意義
	12	株式譲渡の効力発生要件、対抗要件、株主名簿の意義等
	13	名義書換制度、株式の担保化
	14	株式振替制度の意義、端数が生ずる場合
	15	単元株制度の意義、株式等売渡請求の概要
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	114	
授業科目	監査論基礎 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60 時間（2 単位）	
授業コマ数	30 回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした有識者の講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務諸表監査総論①
	2	財務諸表監査総論②
	3	意見表明の対象である財務諸表①
	4	意見表明の対象である財務諸表②
	5	監査主体論、監査基準論①
	6	監査主体論、監査基準論②
	7	監査人①
	8	監査人②
	9	職業倫理（監査人に要求される条件）①
	10	職業倫理（監査人に要求される条件）②
	11	専門能力及び知識①
	12	専門能力及び知識②
	13	主要勘定と帳簿、証拠等の例①
	14	主要勘定と帳簿、証拠等の例②
	15	アサーション①
	16	アサーション②
	17	監査技術 監査証拠①
	18	監査技術 監査証拠②
	19	監査技術 閲覧①
	20	監査技術 閲覧②
	21	監査技術 帳簿突合①
	22	監査技術 帳簿突合②
	23	監査技術 証憑突合①
	24	監査技術 証憑突合②
	25	監査技術 実査①
	26	監査技術 実査②
	27	監査技術 観察①
	28	監査技術 観察②
	29	監査技術 再計算①
	30	監査技術 再計算②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	115	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算総合問題（初級編）①
	2	計算総合問題（初級編）②
	3	計算総合問題（初級編）③
	4	計算総合問題（初級編）④
	5	計算総合問題（初級編）⑤
	6	計算総合問題（初級編）⑥
	7	計算総合問題（初級編）⑦
	8	計算総合問題（初級編）⑧
	9	計算総合問題（初級編）⑨
	10	計算総合問題（初級編）⑩
	11	計算総合問題（初級編）⑪
	12	計算総合問題（初級編）⑫
	13	計算総合問題（初級編）⑬
	14	計算総合問題（初級編）⑭
	15	計算総合問題（初級編）⑮
	16	計算総合問題（初級編）⑯
	17	計算総合問題（初級編）⑰
	18	計算総合問題（初級編）⑱
	19	計算総合問題（初級編）⑲
	20	計算総合問題（初級編）⑳
	21	計算総合問題（初級編）㉑
	22	計算総合問題（初級編）㉒
	23	計算総合問題（初級編）㉓
	24	計算総合問題（初級編）㉔
	25	計算総合問題（初級編）㉕
	26	計算総合問題（初級編）㉖
	27	計算総合問題（初級編）㉗
	28	計算総合問題（初級編）㉘
	29	計算総合問題（初級編）㉙
	30	計算総合問題（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	116	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	管理会計の構造を意識しながら、総合問題を解くことで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算総合問題（初級編）①
	2	計算総合問題（初級編）②
	3	計算総合問題（初級編）③
	4	計算総合問題（初級編）④
	5	計算総合問題（初級編）⑤
	6	計算総合問題（初級編）⑥
	7	計算総合問題（初級編）⑦
	8	計算総合問題（初級編）⑧
	9	計算総合問題（初級編）⑨
	10	計算総合問題（初級編）⑩
	11	計算総合問題（初級編）⑪
	12	計算総合問題（初級編）⑫
	13	計算総合問題（初級編）⑬
	14	計算総合問題（初級編）⑭
	15	計算総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	117	
授業科目	企業法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	会社法を中心とした、株式会社の機関に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、株式会社の機関に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総説—株式会社の機関設計
	2	公開会社の機関構造の特色
	3	株主総会の権限
	4	総会屋対策
	5	株主総会決議の瑕疵
	6	取締役の行為規制の必要性
	7	善管注意義務と忠実義務
	8	利益相反取引
	9	取締役の報酬規制
	10	違反行為差止請求権
	11	取締役会の意義・設置
	12	代表取締役の意義・設置
	13	監査役の権限・義務
	14	監査役会の権限
	15	会計参与の権限・義務
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	118	
授業科目	監査論基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	監査技術 再実施
	2	監査技術 質問
	3	監査技術 年齢調べ
	4	監査技術 棚卸資産に対する手続
	5	監査技術 確認
	6	監査技術 分析的手続
	7	監査技術 経営者確認書
	8	リスク・アプローチ
	9	監査リスク
	10	リスク評価手続の全体像
	11	リスク・アプローチとの関係
	12	監査とIT
	13	ITの特徴①
	14	ITの特徴②
	15	監査に係る予備的な活動 契約の締結まで
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	119	
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎演習①
	2	基礎演習②
	3	基礎演習③
	4	個別基礎問題（中級編）①
	5	個別基礎問題（中級編）②
	6	個別基礎問題（中級編）③
	7	個別基礎問題（中級編）④
	8	個別基礎問題（中級編）⑤
	9	個別基礎問題（中級編）⑥
	10	個別基礎問題（中級編）⑦
	11	個別基礎問題（中級編）⑧
	12	個別基礎問題（中級編）⑨
	13	個別基礎問題（中級編）⑩
	14	個別基礎問題（中級編）⑪
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	120	
授業科目	財務会計論簿記上級演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題（中級編）①
	2	計算基礎問題（中級編）②
	3	計算基礎問題（中級編）③
	4	計算基礎問題（中級編）④
	5	計算基礎問題（中級編）⑤
	6	計算基礎問題（中級編）⑥
	7	計算基礎問題（中級編）⑦
	8	計算基礎問題（中級編）⑧
	9	計算基礎問題（中級編）⑨
	10	計算基礎問題（中級編）⑩
	11	計算基礎問題（中級編）⑪
	12	計算基礎問題（中級編）⑫
	13	計算基礎問題（中級編）⑬
	14	計算基礎問題（中級編）⑭
	15	計算基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	121	
授業科目	管理会計論上級演習 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の知識を定着させる	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題（中級編）①
	2	計算基礎問題（中級編）②
	3	計算基礎問題（中級編）③
	4	計算基礎問題（中級編）④
	5	計算基礎問題（中級編）⑤
	6	計算基礎問題（中級編）⑥
	7	計算基礎問題（中級編）⑦
	8	計算基礎問題（中級編）⑧
	9	計算基礎問題（中級編）⑨
	10	計算基礎問題（中級編）⑩
	11	計算基礎問題（中級編）⑪
	12	計算基礎問題（中級編）⑫
	13	計算基礎問題（中級編）⑬
	14	計算基礎問題（中級編）⑭
	15	計算基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	122	
授業科目	短答式対策上級総合 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算） 択一式応用問題（中級編）①
	2	財務会計（理論） 択一式応用問題（中級編）①
	3	管理会計 択一式応用問題（中級編）①
	4	企業法 択一式応用問題（中級編）①
	5	監査論 択一式応用問題（中級編）①
	6	財務会計（計算） 択一式応用問題（中級編）②
	7	財務会計（理論） 択一式応用問題（中級編）②
	8	管理会計 択一式応用問題（中級編）②
	9	企業法 択一式応用問題（中級編）②
	10	監査論 択一式応用問題（中級編）②
	11	財務会計（計算） 択一式応用問題（中級編）③
	12	財務会計（理論） 択一式応用問題（中級編）③
	13	管理会計 択一式応用問題（中級編）③
	14	企業法 択一式応用問題（中級編）③
	15	監査論 択一式応用問題（中級編）③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	123	
授業科目	租税法基礎 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	法人税額の計算の基礎
	3	使途秘匿金（追加課税される金額）
	4	外国税額控除
	5	貸倒損失（貸倒損失の計上が認められる場合）
	6	欠損金の繰越控除・繰戻し還付
	7	収用等の特別控除（特別控除の適用要件）
	8	圧縮記帳
	9	役員・使用人兼務役員の判定
	10	役員給与（1 項基準額）
	11	使用人給与
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	13	みなし配当
	14	グループ法人税制（概要）
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	124	
授業科目	経営学基礎 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間（1 単位）	
授業コマ数	15 回	
授業概要	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	学習した知識を基に経営分析することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	バランスト・スコアカード（BSC）
	2	デリバティブ
	3	先物取引
	4	オプション取引
	5	オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成）
	6	金利オプション
	7	スワップ取引
	8	テイラーの科学的管理法
	9	ファヨールの管理論
	10	人間関係論と近代モチベーション論
	11	バーナード理論
	12	サイモン、マーチの理論
	13	管理原則論
	14	組織構造論（各論）
	15	組織文化論
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	125	
授業科目	租税法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	所得税法の概要
	2	各種所得と各種所得の金額の計算（不動産所得・譲渡所得）
	3	減価償却
	4	課税標準・課税所得金額の計算
	5	所得控除額の計算
	6	納税税額の計算（報酬・料金等に係る源泉徴収）
	7	申告・納付
	8	源泉徴収
	9	有価証券に係る課税の特例
	10	消費税法の概要
	11	仕入れに係る消費税額
	12	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整
	13	仕入れに係る対価の返還等
	14	売上げに係る対価の返還等
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	126	
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計論の典型論点を中心に理解を深める	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	127	
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	128	
授業科目	企業法基礎演習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	簡易的な記述式問題により商法に関する正確な知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	129	
授業科目	監査論基礎演習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30回	
授業概要	監査実施論に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
	16	記述式基礎問題（中級編）⑯
	17	記述式基礎問題（中級編）⑰
	18	記述式基礎問題（中級編）⑱
	19	記述式基礎問題（中級編）⑲
	20	記述式基礎問題（中級編）⑳
	21	記述式基礎問題（中級編）㉑
	22	記述式基礎問題（中級編）㉒
	23	記述式基礎問題（中級編）㉓
	24	記述式基礎問題（中級編）㉔
	25	記述式基礎問題（中級編）㉕
	26	記述式基礎問題（中級編）㉖
	27	記述式基礎問題（中級編）㉗
	28	記述式基礎問題（中級編）㉘
	29	記述式基礎問題（中級編）㉙
	30	記述式基礎問題（中級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	130	
授業科目	経営学基礎演習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	簡易的な記述式問題により組織論に関する知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	131	
授業科目	租税法基礎演習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	計算問題を中心に所得税法に関する重要論点のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	132
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅲ
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15回
授業概要	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	連結会計に関する基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 連結財務諸表総論</li> <li>2 支配獲得日における連結貸借対照表の作成</li> <li>3 支配獲得日以降における連結貸借対照表の作成</li> <li>4 段階取得、子会社株式の追加取得、子会社株式の一部売却</li> <li>5 連結除外、子会社の増資</li> <li>6 子会社の新株予約権の取扱い、子会社が保有する自己株式</li> <li>7 評価差額の実現</li> <li>8 成果連結総論</li> <li>9 未実現利益の消去、債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整</li> <li>10 未達取引、手形取引、社債取引</li> <li>11 持分法総論</li> <li>12 持分法</li> <li>13 連結税効果①</li> <li>14 連結税効果②</li> <li>15 巻末総合問題演習</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	133	
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	財務諸表の表示及び注記に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	株主資本等変動計算書の目的
	2	株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲
	3	株主資本等変動計算書の表示方法
	4	株主資本等変動計算書の注記事項
	5	キャッシュ・フロー計算書の作成目的
	6	利益とキャッシュ・フロー
	7	資金概念
	8	キャッシュ・フロー計算書の区分
	9	直接法と間接法
	10	キャッシュ・フロー計算書の注記事項
	11	会計方針
	12	後発事象
	13	偶発事象
	14	時価情報
	15	継続企業情報
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	134
授業科目	管理会計論基礎Ⅱ
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	90時間（3単位）
授業コマ数	45回
授業概要	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 直接実際原価計算</li> <li>2 直接実際原価計算の意義</li> <li>3 直接実際原価計算による損益計算書</li> <li>4 固定費調整</li> <li>5 直接標準原価計算</li> <li>6 直接標準原価計算の意義</li> <li>7 直接標準原価計算による損益計算書</li> <li>8 直接標準原価計算における固定費調整</li> <li>9 直接原価計算に関する諸論点</li> <li>10 生産・販売量と営業利益の関係の整理</li> <li>11 セグメント別損益計算書</li> <li>12 固定費（キャパシテイ・コスト）の管理</li> <li>13 直接原価計算による営業利益が制度外とされている理由</li> <li>14 予算管理の基礎</li> <li>15 予算と予算管理の意義</li> <li>16 予算管理のプロセス</li> <li>17 予算管理と責任会計</li> <li>18 予算の種類</li> <li>19 予算編成の方法</li> <li>20 予算編成の手順</li> <li>21 予算統制</li> <li>22 予算実績差異分析の意義と手続</li> <li>23 予算実績比較損益計算書の作成</li> <li>24 予算実績差異分析の詳細</li> <li>25 予算報告書</li> <li>26 講義内演習①</li> <li>27 講義内演習②</li> <li>28 講義内演習③</li> <li>29 講義内演習④</li> <li>30 講義内演習⑤</li> <li>31 講義内演習⑥</li> <li>32 講義内演習⑦</li> <li>33 講義内演習⑧</li> <li>34 講義内演習⑨</li> <li>35 講義内演習⑩</li> <li>36 講義内演習⑪</li> <li>37 講義内演習⑫</li> <li>38 講義内演習⑬</li> <li>39 講義内演習⑭</li> <li>40 講義内演習⑮</li> <li>41 講義内演習⑯</li> <li>42 講義内演習⑰</li> <li>43 講義内演習⑱</li> <li>44 講義内演習⑲</li> <li>45 講義内演習⑳</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	135	
授業科目	企業法基礎Ⅲ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15回	
授業概要	会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、資金調達に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	資金調達総説
	2	募集株式の発行等の意義、募集事項の決定事項
	3	募集事項の決定機関、募集株式の申込み、募集株式の割当て
	4	総数引受の場合—申込み・割当ての例外、募集株式の引受け
	5	申込み（引受け）の瑕疵—引受けの無効又は取消しの制限
	6	出資の履行等、失権株式
	7	募集株式の発行等の効力発生時期と変更登記
	8	払込金額が不公正な場合・出資された財産等の価額が不足する場合の責任
	9	違法発行に対する措置
	10	新株予約権の意義、募集新株予約権の発行、新株予約権の譲渡
	11	新株予約権の行使、新株予約権無償割当て（277条～）
	12	株式と社債の共通点、株式と社債の相違点
	13	株式と社債の接近化現象、募集株式の発行手続
	14	社債原簿、社債管理者、社債権者集会
	15	社債の譲渡、利息の支払、社債の償還
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	136
授業科目	監査論基礎Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30回
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 監査に係る予備的な活動 意義①</li> <li>2 監査に係る予備的な活動 意義②</li> <li>3 監査に係る予備的な活動 何を検討するのか①</li> <li>4 監査に係る予備的な活動 何を検討するのか②</li> <li>5 監査に係る予備的な活動 検討の結果①</li> <li>6 監査に係る予備的な活動 検討の結果②</li> <li>7 監査計画の定義①</li> <li>8 監査計画の定義②</li> <li>9 監査計画の分類①</li> <li>10 監査計画の分類②</li> <li>11 監査証拠の入手方法①</li> <li>12 監査証拠の入手方法②</li> <li>13 監査サンプリング①</li> <li>14 監査サンプリング②</li> <li>15 重要性の定義①</li> <li>16 重要性の定義②</li> <li>17 監査上の重要性が用いられる場面①</li> <li>18 監査上の重要性が用いられる場面②</li> <li>19 重要な虚偽表示か否かの判断①</li> <li>20 重要な虚偽表示か否かの判断②</li> <li>21 監査上の重要性の例①</li> <li>22 監査上の重要性の例②</li> <li>23 重要性の基準値の決定①</li> <li>24 重要性の基準値の決定②</li> <li>25 特別な検討を必要とするリスクの定義等①</li> <li>26 特別な検討を必要とするリスクの定義等②</li> <li>27 特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価①</li> <li>28 特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価②</li> <li>29 関連当事者とは①</li> <li>30 関連当事者とは②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	